

秋冬 autumn - winter  
2019

vol.

25

# 春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53

横浜市教育会館 3F

TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文芸評論 4 / 文学 6 / 写真・音楽・芸術 7 / 立教大学人文叢書 8 / 横浜市立大学新叢書 8 / 東洋英和女学院大学社会科学研究叢書 8  
 総記・辞典・事典 8 / 詩歌・俳句 8 / 観光・環境・自然 8 / 教育 9 / 言語 10 / 心理 10 / 社会・歴史 10 / 政治・経済 11 / 人類学 12 / シリーズ来たるべき人類学 12  
 【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しりあがり寿 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8  
 コ・プレゼンスの時代へ 吉原直樹 9 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10  
 【コラム】 自著を語る 5 / 書評 11 / 春風接人 12



凡そ生命を  
解さざる者は、  
其身に於て  
生命を得ざる者なり。

ことば 『新井奥遼著作集』5巻 32頁 /  
『おうすいポケット 新井奥遼語録抄』148頁より  
絵 ジャン=フランソワ・ミレー 「晩鐘」



# 知識と経典

——二〇一九年九月一日、横浜市教育会館にて、川崎市中原区にある「朝岡鍼灸院」院長の朝岡和俊先生をお招きし、当社代表の三浦衛と対談しました。その模様をお伝えします。

## 鍼灸の世界



朝岡和俊  
(朝岡鍼灸院院長)

×  
三浦衛  
(春風社代表)



朝岡和俊氏

### 国語はどり、日本史はトップ

三浦 私はもう十年以上朝岡先生にお世話になっております。春風社は九月末日をもって二〇周年を迎えますが、私が春風社の代表として「らしく」いられるのは、朝岡先生のおかげが大きいと感じています。

朝岡先生の商売道具は言葉ではなく、実際に人の身体を診、処方していくのがお仕事です。先生という話をするなかで、身体だけではなく人とのつき合いについても教わることが非常に多い。例えば先生は、鍼灸院に問い合わせの電話があったとき、電話で相手の声を聴くことが診察の始まりだと言う。また患者さんが鍼灸院に入ってくるときに、どういう姿勢で入ってくるのかその立ち居ふるまいを見ている。

三浦 今も勉強熱心ですね。朝岡 辞書を引ながら鍼灸に関する英語の本も読んでいます。文章自体は難しくなく、専門の単語だけ知っていれば読めますから。興味があれば頭に入る。

三浦 ツボの名前は独特な言葉で、普通の本にはなかなか出てこない。先生がツボの名称を漢字の成り立ちから探っていくというので、私が諸橋轍次の『大漢和辞典』を紹介すると、先生はさっそく購入し活用している。私がいいたいと思うのは、「仕事を通して本を読む」ということ。勉強のための勉強ではなく、必要に応じて、疑問を感じると本を読み、辞書をひく。そこに先生の実践躬行があると思います。

朝岡 小学校一年生のとき、漢字の宿

題をやるのが本当に嫌で、漢字ノートをハサミで切って書く量を減らして提出したら、先生にゲンコツでガツンとやられたことがあります。とにかく「勉強をいかにするか」じゃなくて「勉強をいかにしないか」の方に頭を使っていました。

「なんで君が諦めるんだ！」

朝岡 鍼灸師になつたきっかけは、自慢できるような話ではないんです。実家が整骨院なので、父親が通った専門学校で柔道整復師の科に無理やり入れられ、「ついでだから鍼灸師の資格も取ってこい」ということで、本当になつてしまった。

三浦 朝岡先生は資格を取るために勉強され、鍼灸院を開院してからもいろいろ本を読んでいるわけですが、なかでも何度も繰り返し読んでいるのが『沢田流開書 鍼灸真髓』(医道の日本社)という本だそうですね。

三浦 沢田健という人物を簡単に紹介します。一八七七年、大阪の武道家に生まれ、青年時代に柔術を修行し、朝鮮で開業。一九二二年に帰国し東京で開業。鍼灸医学の発展に取り組み、太極療法(沢田流)を提唱。彼に師事した代田文誌が著したこの本に、施術の実際、語録、考え方が紹介されています。初版が昭和一六年に出て、版を重ねています。沢田健が自分で書いた本ではなく、代田文誌という愛弟子が、沢田健が患者をどんなふうにご治療していかのか、聞き書きに加え治療の実際を近くで見たとめた本です。ツボの索引もついていますが、症状に合わせて索引を見ながら自分で灸をすえることもできます。私は専門的なことは分かりませんが、普通の鍼灸のツボとされているところとずれているところが結構多いですね。

朝岡 多いですね。でもこの本は宝の山です。自分のステージが上がると同時に新たな発見があります。三浦 本の読みとしても非常におもしろいです。一度読んで「分かった」とはならない。生きていく人間を相手にしていますから、朝岡先生ご自身も変化がある。そうすると同じ本でもまた違ったふうに見える……。私が最初にこの本を読んだときの印象ですが、新井奥達(あきだて)とよく似ていました。道元の『正法眼蔵』にも似ている気がします。天才資質の人はあまり言葉で伝えようとしません。だから聞き書きのような形の本になる。『正法眼蔵』は道元本人が書いたものですが、弟子の懐契が聞き書きしたものに『正法眼蔵随聞記』があります。大事なことはなかなか言葉で伝わらないということが、『鍼灸真髓』にもたびたび出てきます。

「第二回見学筆記」を少し読んでみます。「昭和二年」十月二十一日。患者は東京帝大薬学部主任教授、薬学博士。朝比奈泰彦氏。年齢五十歳位。栄養不良。顔面蒼白。眼がわるいという。肝臓が前からわるく、眼もわるかつた。諸方の医師に罹つたが眼がなほらなかつたらしい。先生の治療を受けてより著しく経過がよいのである。先生は背部を触診されながら——

もう肝臓はようくなりました。脾臓と腎臓がなほれば肝臓もなほつてしまいます。実に不思議なものですね。肝臓がなほつたら眼も良うよなつたでしょう。』という。『え、大変具合がいい、ようです。』と患者が答える。

「眼科専門の医者なんてバカけたも  
のですなあ。眼科ばかり診て一向  
内科を診んから眼が治らんです。  
悪口など言い度くないけれど、あ  
んまりバカけたことばかりやって  
いるので、悪口を言わずにはをら  
れんです。」

〔第二回見学筆記〕四七、四八頁

目が悪いのに、なぜ腎臓、脾臓のな  
鍼にかかったことのない一般の人に  
はわかりにくいと思うので、お話し  
ただけますか。

**朝岡** 漢方では、五臓六腑は互いに助  
け合っているとされます。目は肝臓  
からエネルギーをもらい、肝臓は腎  
臓からエネルギーをもらっているか  
ら、肝臓を治すには腎臓を元気に  
してあげないといけない。肝臓は脾  
臓の働きを抑える働きがあり、肝臓  
が元気じゃないと脾臓が働き過ぎて  
しまうので、脾臓の働きを少し抑え  
て、腎臓を元気にしてあげると、肝  
臓がよりエネルギーをもらって治っ  
てくる。それで目がよくなるという  
流れです。

**三浦** 朝岡先生のところに行くと、「こ  
のツボ、今週開発したんだ」と言わ  
れて、「本当かよ？」と疑わしい気も  
ちよつとする。しかし実際に治療し  
てもらおうと痛みがとれ、具合がよ  
くなっていく。不思議です。

## 全体のなかの人間

**三浦** 『鍼灸真隨』の沢田健は、江戸

時代に書かれた『和漢三才図会』を  
よく参考にしていました(平凡社東洋  
文庫から現代語訳で全一八巻)。中国の『三  
才図会』をベースに、寺島良安とい  
う医者が書いたのが『和漢三才図会』  
です。『三才』とは天・地・人で、い  
わば宇宙・万物。江戸時代における  
百科事典といつていいと思います。

人間をとらえるにはトータルでな  
ければならない、世界・宇宙のなか  
で人間も生かされている、という発  
想でこの本は書かれている。人間の  
ことだからといって人間だけを見て  
いては駄目で、宇宙・万物のことを  
見すえながら、そのなかの人間、「全  
体のなかの人間」を見ようとしている。

春風社では人文科学、社会科学を中  
心にした学術書を中心に出版してい  
ますが、時代の要請ということもあ  
りましょうけれど、学問が高度に専  
門化し、かつてタコつぼ型といわれ、  
最近だとサイロ型といわれるような  
様相がますますひどくなっている気  
がします。下世話には、木を見て森  
を見ずということでしょうか。沢  
田健の『鍼灸真隨』や寺島良安の『和  
漢三才図会』は、そうしたいまの学  
問の根底を揺るがすものであり、東  
日本大震災の際に発せられた「想定  
外」という言葉の持つ驕りに一石を  
投ずるものであろうと思います。

『鍼灸真隨』にはこういう箇所もあ  
ります。

或る時私(代田文誌)は先生より、  
『あなたは和漢三才図会をよんだこ  
とがありますか。』

と聞かれ、何気なく「読みました」  
と答えた処、非常に叱られた。そ  
の際先生はこう云った。

『今の人間は本の数さえ沢山よめば  
それでよいと思つてゐるが、それ  
では本当のことはわからん。三才  
図会のようなよい本になると、一  
通りや二通り読んだだけでは駄目  
です。百本でも二百本でも読  
んで、生きた人間にあてはめて見  
て、わからん処のなくなるまで読  
まねばなりません。あなた方の読  
んだというのは、それは本当に読  
んだのではない。ただ眼で見た、  
けに過ぎない。』

〔第二回見学筆記〕一四三頁

こう言われ、代田文誌は深く恥じ入  
り、顔から火の出る思いだったそ  
うです。

『二二六事件の黒幕』とも言われ  
る陸軍大将の真崎甚三郎も、沢田健  
に世話になりました。真崎が天皇陛  
下に会いに行かなければいけない前  
の日、肩が痛くて上がらなくなつて  
しまい、沢田健に往診を頼んだ。

昭和九年七月廿八日の夜のこと  
である、先生は一日の治療を終  
えられて八時頃から散歩に出られ、  
十時に帰つて来られた。(私も一緒に  
お供をした)すると一青年が来て待  
つていて、是非とも今夜代々木迄  
往診に来て呉れとたのむ。どんな  
症状かとたづねると「真崎甚三郎  
大将が昨日から腕の痛みで動くこ  
とも出来ず、明日是非とも、陛下  
の御前に伺候せねばならない要件  
があるのに困り果て、いるのです。  
お疲れのところすみませんがど  
うぞお願いします」と云う

〔昭和九年筆記〕二五二頁

そこで真崎大将を治療すると、嘘の  
ように治つて、天皇陛下に翌日会い  
に行くことができた。一緒につい  
て行った代田文誌は、そのエピソード  
の最後に、「なほついで乍ら、随  
行者として私の感想を付記すると先  
生が権勢にも地位にも少しもおもね  
るところなく思いの儘に所信を述べ

られる高潔なる態度にはいたく感じ  
入つた。治療の妙技もさること乍ら、  
人間としての態度に於ても実に立派  
であつた。まことに東洋古医道の権  
化とも云うべき高き品格をそなえて  
いられた」と書いています。

## 知識と経験と勘、そして志

**三浦** この対談のタイトルの「知識  
と経験と勘」は朝岡先生の言葉です。  
私が最初に考えたのは「言葉と言葉  
以前」だったのですが、朝岡先生は  
「やっぱり知識と経験と勘なんだよ  
なあ」とボソッとおっしゃった。知  
識を習得して資格を得た上で、実地  
で人間と接して、経験を積んでいく  
なかで検証しないと行けない。それ  
でもまだ足りなくて「勘」という話  
をされた。

先生は秘伝といふものは持たれ  
なかつた。いつも秘伝を公開して  
ゐたのであるが、惜しいかな、そ  
れを会得するものが少かつたので  
ある。先生の言葉には言外の意が  
こもつてゐた。以心伝心でなけれ  
ばわからぬ処が多くあつて、これ  
だけは文字でも言葉でも伝へ難い  
と嘆いてゐられた。この文字でも  
言葉でも伝へ難い、ただ勘でわか  
るだけだといふことを(シタ類の研  
究者として有名な)緒方正教授の  
来られたときに話していられたが、  
一道に達したお互ひの中では、以  
心伝心的にわかつてゐるらしかつ  
た。

『山のこら辺のところにあるだろ  
うと思つて、大体の見当をつけて  
探すと、大抵そこに羊歯類の特殊  
なものがあつて、見当がよく当る  
のに驚くことがある。全くそれは  
不思議な位です。』

緒方正教授がこんなには言はれると、  
先生は大きくうなづいて、  
『わしもお灸のツボが、この辺に出  
てゐるだらうと大体の見当をつけ  
て手をもつてゆくと、大抵そこに

ツボが出てゐるのです。』  
と云つて答えられた

〔附録四四、四五頁〕

このような「勘」について、朝岡先  
生なりの感覚はありますか。

**朝岡** 沢田先生は直接触れず手をかざ  
しただけで、「ここが悪い」「ここに  
熱がある」「ここが冷えている」と  
か分かつたらいいですけど、僕は  
そこまでじゃないですね。五臓六腑  
を診るポイントには脈やお腹にあつて、  
免疫の反応や、瘀血という血の流れ  
の反応は触れば分かります。ツボは  
教科書どおりのところにはない。教  
科書はあくまでも目安です。僕は集  
中すると目が刺さつてしまうから、  
そこに針を刺す。

**三浦** 目が刺さる？ どういうことで  
すか。

**朝岡** 「ここがツボだ」と分かつたら、  
そこから目が動きません。そこが絶  
対ツボなんです。

**三浦** 理屈では分からないですね。そ  
の「目が刺さる」感覚は、鍼灸師を  
始めた最初からあるものですか？

**朝岡** 最初からです。目の見えない人  
はもろに触つて感じるのだからうけ  
れど、目が見える人は目で取つてい  
いだらうと、もともとと思つていまし  
た。目も五感の一つなんだから。

**三浦** 素人感覚では全く分からないと  
ころですね。

**朝岡** 知識だけじゃ駄目、経験だけ  
じゃ駄目、勘だけじゃ駄目で、この  
三つがそろつとうまく出来たり、新  
しいことを思いついたりする。さら  
に加えれば「志」が必要です。いろ  
いろな鍼灸師がいますが、難病の人  
他所で治らないような病気の人を何  
とか治したい、治つてほしいという  
気持ちがないと、いくら教えても駄  
目です。気持ちや志がやっぱり大事  
だと思つた。

**三浦** 先ほどの村上先生の言葉のよう  
に、諦めちゃう駄目だということですね。

## 心と身体の見えないつながり

**朝岡** 僕の実家は宮城県の南三

陸町で、東日本大震災の津波で多く  
の人が亡くなりました。妻の実家は  
一階に養殖いかだがいっぱい刺さつ  
てもう住めない状態だった。何とか  
リフォームして今は住んでいますが、  
すぐ近所は家が全部流されてしまつ  
たところもあります。

震災から一年が過ぎたころのある  
日、千葉の浜辺をドライブしていま  
した。波を見ていたら震災を思い出  
し、亡くなった方のことを思つて  
浜辺で手を合わせました。その帰  
り、身体がどうしようもなく重くな  
つた。日が経つにつれどんどん重くな  
り、しまいに患者さんを診ながら、  
空いているベッドで寝ていないとい  
られないような状態になつたんです。

「ふつうの状態じゃない。だれかが  
僕の身体のなかに入つているから重  
くなっている」と思いました。鍼灸  
には「霊台」と「神道」と呼ばれる、  
霊にかかわるツボがあります。帰宅  
してから、その二つのツボに妻にお  
灸してもらつて、階段を這い上がる  
ようにして二階の寝室に上がり寝ま  
した。翌朝、もう身体がすっかりよ  
くなつていました。信じる、信じな  
いは別として、そんなことが実際あ  
るんです。

**三浦** ツボの名前が漢字なのは、そう  
いう意味でもおもしろい。「霊」や「神」  
という言葉が含まれている。

**朝岡** おもしろいですね。字面を見れ  
ば何となく分かるから面倒な説明を  
しなくてもいい(笑)。

**三浦** 痛みがとれれば、それでいい。  
**朝岡** そうそう。臨床だから結果オー  
ライ。よくなった者勝ちですから。

**三浦** 身体をよくすると心がよくなる  
のか、それとも心が治つてくると身  
体がいい影響があるのか、どちらら  
でしょう。

**朝岡** どちらも言えますね。難しい  
な(笑)。

**三浦** 私はうつ病を患ったときに朝岡  
先生に診ていただいたことがきっか  
けで、ずっとお世話になっていま  
す。骨折してうつ病になって、あのとき  
は本当に「薬をも掴む」という気持  
ちで「何とかもう少しよくになりたい」  
という時期でした。朝岡先生にお腹

を触られた。かなりよくなって、私  
も話ができるようになってから先生  
が言うには、最初に診てもらつたと  
きの私のお腹は「ペコペコだった」  
ということでした。

**朝岡** 当時の三浦さんには腎の気がな  
かつたですね。「五行色体表」とい  
うものがあります。漢方では五臓六腑  
の五臓に対応して五志というのがあ  
り、肝臓が「怒る」、心臓が「笑う」、  
脾臓が「思ふ」、肺が「憂う」、腎が「恐  
れる」。五臓をしっかりと元気にしてあ  
げないと、そういう感情のほうも抑  
えられない。そういう見方をします。

**三浦** 『和漢三才図会』や安藤昌益の  
ような江戸時代の医者たちの考え方  
にならつて、宇宙・天地万物のなか  
で私も生かされているのだとすれば、  
やはり内臓もそれぞれつながってい  
るし、私も外の世界と何らかのかた  
ちでつながっているのではないか。  
心と身体にも、見えないけれどつな  
がりがあるのではないかと感じます。

沢田健に言わせると、東洋では精  
神というのは心臓と腎臓だそうです。  
これは心臓と腎臓の機能や関係だけ  
ではなく、そこから派生し、身体だ  
けではなく心にまで影響を及ぼす  
諸々のことを合わせて言っているの  
だと思ひます。

私は、週に一度朝岡先生に診ても  
らつて、このころは「今週はおかけ  
さまで平穩に過ぎました」と申し上  
げることが多くなりました。心と身  
体と頭がバランスをとりながら、こ  
うやって仕事を続けていられるのは、  
先生のおかげが大きいです。お灸は  
「二壮、一壮」と数えるそうですが、  
朝岡先生に紹介してもらつた千壮入  
りのお灸を買つて自宅でもお灸をし  
ています。『鍼灸神髓』に「体質改善」  
という言葉が何度か出てきて、体質  
改善には時間がかかると強調されて  
います。即効性はなくとも長く続け  
るのが大事ではないかと思ひます。  
今日はどうもありがとうございます。



三浦衛





**死ぬ権利はあるか**  
安楽死、尊厳死、自殺幫助の是非と命の価値  
有馬斉 (横浜市立大学准教授)

医療技術が進展するなか、人の死の望ましいありかたとは？ 死ぬ権利について擁護派と反対派の議論を整理し、豊富な事例や各国・地域の政策的取り組みも検討。倫理的・政策的な判断の基礎となる考えを提示する。

四六判上製・五五八頁 定価(4300円+税)  
ISBN 978-4-86110-624-8 一刷



**「ただ人間であること」が持つ道徳的価値**  
相互に尊重し合う自由で平等な個人が築く民主主義

浜野研三 (元関西学院大学教授)

人間を動物と同様に扱おうとする「種差別批判」に潜む優生学的思考の問題を明らかにし、人間同士の関係の質の多様さと深さに着目。障害の有無にかかわらず人間の道徳的平等に基づいた民主主義論を展開する。

四六判上製・二八六頁 定価(3500円+税)  
ISBN 978-4-86110-636-1

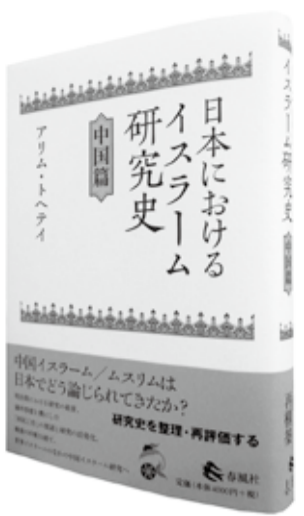


**日本におけるイスラーム研究史**

中国篇  
アリム・トヘイ (東北大学助教)

中国イスラーム・ムスリムは日本でどう論じられてきたか？ 明治の萌芽期から、満州事変を機にした「回民工作」と研究の活発化、戦後の中断を経てイスラーム世界の中の中国イスラーム研究へ。研究史を整理・再評価する。

四六判上製・三三頁 定価(4000円+税)  
ISBN 978-4-86110-632-3



**キルケゴールの実存解釈—自己と他者**

河上正秀 (筑波大学名誉教授)

キルケゴールはいかに受容されてきたのか。レヴィナス、デリダ、ウイトゲンシュタイン、田辺元らによる解釈の歴史をたどり、その思想的意義を明らかにする。

ISBN 978-4-86110-597-5 ¥3500

**深い河の流れ—宗教多元主義への道**

長谷川(潤瀬) 恵美 (桜美林大学准教授)

キリスト教伝道における異文化内開花の実生とは何か。遠藤周作とJ・ヒックを道標としつつ、日本のカクレクリシチャンを例に宗教多元主義のあり方を探る。

ISBN 978-4-86110-604-0 ¥2200

**そこには何かある—「この自分」が在るといふ不思議**

牟田隆郎 (元聖学院大学教授)

なぜ「この自分」なのか。なぜ「この人生」なのか。さまざまな角度から、疑問・思考・分析を繰り返して、自分の存在の秘密を解き明かす哲学エッセイ。

ISBN 978-4-86110-612-5 ¥1800

**人間形成としての教養—ハンガリー、フィンランド、日本におけるトイックの理念の受容と**

高橋輝暁 (立教大学名誉教授) 編

「教養」のあり方を、ドイツをはじめとする思想史や教育史、文化概念の問題、天野貞祐の理念などから多角的に考察。

ISBN 978-4-86110-596-8 ¥2000

**律から密へ—晩年の慈雲尊者**

秋山学 (筑波大学教授)

江戸時代の真言宗の高僧、慈雲はいかに「妙法蓮華經」を受容したのか。最晩年の直筆本「法華陀羅尼略解」をもとに慈雲の思想を再検討。慈雲における密教と顕教の台を明らかにする。

ISBN 978-4-86110-600-2 ¥5500

**法華経諺解(ハングル訳注・法華経要解)上**

河瀬幸夫 (研究者)・金星周 (東国大学校教授) 訳

ISBN 978-4-86110-549-4 ¥6500

法華経諺解(ハングル訳注・法華経要解)下  
河瀬幸夫・金星周 訳  
ISBN 978-4-86110-577-7 ¥6500

長谷川宏

**日々の風**  
暮らしのなかの哲学

**20 手書き原稿が好き**

夏の研究合宿で討論用の素材として、執筆途中の単行本原稿の一部をコピーして参加予定の二十数名に配布した。パソコンをまったく使わないうわさりのこと、四〇〇字詰原稿用紙六〇枚ほどのコピーを各自に郵送したが、受け取った何人かから、手書き原稿は懐しいとの感想が寄せられた。

なにかにつけ便利な新しいものにはおいそれと近づかないのが戦後の貧乏生活で身についたわたしの処世法らしく、ケータイヤクレンジットカードをもたないのもその類だ。が、手書き原稿については、もう一つ、万年筆で原稿用紙の罫目を埋めていく作業が心地よいというれつきとした理由がある。ものを書く作業には観念上の苦勞がとれない、楽しいとばかりはともいえないが、万年筆が紙の上を走る動きの快感は、苦勞をわずかながら軽減してくれるように思えるのだ。パソコン最良の友人知人は、文字の訂正・変更や文の差しかが簡単にできる、とか、画面がいつでもきれいで見やすい、とか、送信が即座にできる、といった利点を教えてくれるが、言われて運筆の心地よさを捨てる気にはなれない。

さきのコピーにまつわる感想のなかに、長谷川さんの筆圧は一定していて軽いですね、執筆時の落ち着いた心境が思われます、というほめことばがあった。筆圧のことなどまったく意識にないわたしには、かえってその指摘が新鮮に感じられたが、振り返ると、落ち着いた心境はたしかにめざすところではあるのかなと思える。筆がなめらかに進むには心の激しい波立ちは禁物で、当然、ペンをもつ手にも力が入らないのが好ましい。長年書く作業に携わっていると、原稿用紙に向かう際に無意識のうちには心身の緊張をほぐす力が働き、落ち着いた心境への道が開かれることもあるのかもしれない。その一方で、書く作業はむらがり起こるもろもろの観念をさばいていく知的な営みだから、落ち着いた心境だけではどうにもならないとも思うのだけれど。ちなみに、いま書き終えたのも手書きの原稿である。

(哲学者)



**村上春樹 精神の病と癒し**

南富鎮 (静岡大学教授)

精神の病は不可逆である。一九七〇年と一九七三年にいった何があつたのだろうか(本文より)。病理は文化現象であるとの認識に基づき、村上春樹の文学を精神の病と癒しの側面から読み解く。

四六判上製・三三〇頁 定価(2700円+税)  
ISBN 978-4-86110-652-1

**救いと寛容の文学**

今村武 (東京理科大学教授)

内田均 (横浜美術大学教授)

川村幸夫 (東京理科大学名誉教授)

佐藤憲一 (東京理科大学准教授)

危難の時における「救い」「寛容」という視点から、アメリカ、イギリス、ドイツの文学作品を読み直し、文学に秘められた精神的挑発性を解き放つ。読者へのガイドとなる作者紹介と作品概略を各章末に併録。

四六判上製・三四頁 定価(3500円+税)  
ISBN 978-4-86110-654-5

**『パターンソン』を読む**



江田孝臣 (元早稲田大学教授)

アメリカのモダンリズム詩人ウィリアムズムの代表作『パターンソン』。ジム・ジャヤムツ監督の同名映画にヒントを与えたこの長篇詩が追い求める「アメリカ的なるもの」とは？

論考11篇とエッセイ2篇他を収録。  
四六判上製・三五〇頁 定価(3500円+税)  
ISBN 978-4-86110-645-3

哲学断章—存在・ことば・光  
北岡崇 (元福山女子学院大学教授)  
ISBN 978-4-86110-583-8 ¥2700

カント伝 マンフレッド・キューン 著/菅  
沢龍文・中澤武・山根雄一郎 訳  
ISBN 978-4-86110-479-4 ¥9000

巫者のいる日常—津軽のカミサマから都心の  
スプリチュアルセラピストまで 村上晶  
ISBN 978-4-86110-558-6 二刷 ¥3500

哲学はじめの一步 楽しむ/働く 立正大学  
文学部哲学科 編 楽しむ ISBN 978-4-86110-  
541-8 働く ISBN 978-4-86110-542-5 各 ¥1500

哲学はじめの一步 立正大学文学部哲学科 編 全四巻函入  
ISBN 978-4-86110-459-6 一刷 ¥2241

鈴木大拙の「日本的靈性」—エマヌエル・ス  
ウエーレンホルク新井奥遼との対比から  
那須理香 ISBN 978-4-86110-554-8 ¥4500

教えることの哲学 ジョン・バスマア 著/  
小澤喬 (東京理科大学名誉教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-376-6 ¥4100

奥遼論集成  
春風社編集部 編  
ISBN 978-4-86110-424-4 ¥2700

おうすいホケット 新井奥遼語録抄 三浦衛・  
コールドニール 編 白表紙 ISBN 978-4-86110-454-1  
黒表紙 ISBN 978-4-86110-455-8 各巻 ¥2200

朝鮮儒学の巨匠たち  
韓亨祚 著/片岡龍監・解説 朴福美 訳  
ISBN 978-4-86110-500-5 ¥5500

姿を変えたキリスト—みなし子を育てたシス  
ターたち 菊地章太 (東洋大学教授)  
ISBN 978-4-86110-475-6 ¥2200

思想家としての石橋湛山—人と時代  
山口正 (石橋湛山記念財団評議員)  
ISBN 978-4-86110-472-5 二刷 ¥3000

徂徠と鹿論  
末木恭彦 (駒澤大学教授)  
ISBN 978-4-86110-494-7 ¥3500

随想 西田哲学から聖霊神学へ  
小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-464-0 ¥3500

エコ・ファンタジー—環境への感度を拡張する  
ために 山田利明 (東洋大学名誉教授・河本英夫 (東  
洋大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-468-8 ¥3500

越境する哲学—体系と方法を求めて 村上勝  
三 (東洋大学名誉教授・東洋大学国際哲学研究セ  
ンター 編 ISBN 978-4-86110-478-7 ¥5500

死生学—死の隠蔽から自己確信へ  
岩崎大 (東洋大学研究助手)  
ISBN 978-4-86110-438-1 ¥3982

虚構の形而上学—「あること」と「ないこと」  
のあいだで 中村靖子 (名古屋大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-436-7 ¥3500

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハ  
ビリテーション 稲垣詠 (東洋大学教授)  
ISBN 978-4-86110-303-2 三刷 ¥2381

超越する実存—人間の存在構造と言語宇宙  
柳次正和 (京都府立医科大学教授)  
ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガー  
を超えて 谷口隆一郎 (聖学院大学教授)  
ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333

直接知の探求—西田・西谷・ハイデッカー・  
大拙 松丸壽雄 (獨協大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

風についての省察—絶対無の息づかいをもと  
めて 松山康國 (関西学院大学名誉教授)  
ISBN 4-921146-85-3 ¥3333

〈文化〉の思想—現代日本の位置から  
西欣也 (甲南大学教授)  
ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200

犠牲と身代わり—記憶できないものをめぐっ  
て 長田陽一 (京都光華女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200

心理臨床と脱構築の経験—〈他者〉をめぐ  
って 長田陽一 (京都光華女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400

仮説法の倫理学—ポー・バース・ハイデッカー  
村上隆夫 (群馬大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600

### 新井奥遼著作集 (全十巻)

新井奥遼著作集 (1, 4, 10巻同時)  
工藤正三 (新井奥遼先生記念会幹事)・コールド  
ニール (元福岡女学院大学教授) 共編 各巻 ¥6500

### 自著を語る

寺田詩麻  
『明治・大正 東京の歌舞伎興行  
—その「継続」の軌跡』



歌舞伎の興行史研究は、歌舞伎の上演企画と実行がどのよ  
うな人々によってどこで行われたか、そのための決まりはど  
んなものであったかを明らかにするものです。調査のための  
資料は劇場の日誌、金銭出納に関わる書類、行政機関へ提出  
した願書、取締の内容を示す公文書、上演台本、番付 (現在の  
ポスターやパンフレットにあたる) など多様です。そうした  
資料の作成には人々の様々な思惑が関わっていて、時々そ  
こに赤裸々な人間の在り方が見えるのがおもしろいですね。

歌舞伎にふれたきっかけは、小学生で落語が好きになり聴  
いていくうちに「芝居噺」というものがあった、芝居って?  
と父に聞くと「それは歌舞伎のことだよ」。それで中学一  
年生で初めて観たのが猿之助 (現猿翁) の『再岩藤』です。  
宙乗りする猿之助を劇場中の人がいっせいに見つめている光  
景を目の当たりにして、これはすごいものだ。

大学では古井戸秀夫先生の「日本演劇史」という授業が  
あったんですが、90分が毎回あつという間に感じるほど本当  
に充実した内容で。先生のもとで学びたいと思い、卒業論文  
は大正期における興行師・田村成義の活動について書きました。  
これは本書の第三章で再構成して使っています。

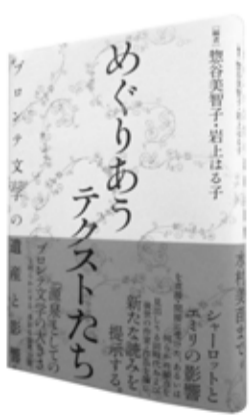
江戸から明治の過渡期は、演劇・劇場に関わる仕組みも激  
変しているので変化の過程を把握するのが難しく、そこは苦  
労しました。ですが、今回書籍として改めてまとめてみて、  
興行師は必ず劇場を所有しなければならないという前提があ  
るなかで、松竹という会社の登場によって、劇場ごと所有し  
なくとも興行権を持ってそこに入り利益を吸い上げられると  
いうことが自明になり、そうした道程が現代の経営にもつな  
がっている—この流れがはっきりしたという感触が得ら  
れたのが大きな成果でした。

歌舞伎というものの一歩の魅力は、四百年前から現在まで  
形を変えながらも続いている演劇だということではないで  
しょうか。なぜこれまで続いてきたのか、その理由を考える  
のがおもしろい。また、人形浄瑠璃文楽や落語、講談、能、  
大衆演劇など、周辺芸能と密接に関連しつつ発展している芸  
能なので、理解を深めるために様々な切り口があり得る。そ  
れが歌舞伎研究の豊かさだと思っています。(7頁に本の紹介)

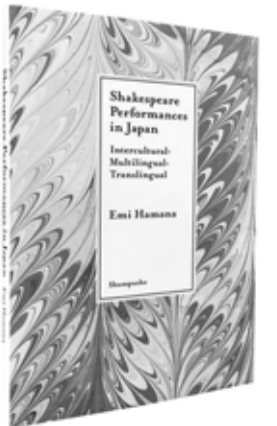
### めぐりあうテクストたち

ブルンテ文学の遺産と影響  
物谷美智子 (神戸海星女子学院大学教授)  
岩上はる子 (滋賀大学名誉教授) 編

シャロットとエミリの影響を直接・間接に受けた、ある  
いは何らかの接点を見出しうる同時代および後世の作家・  
作品を論じ、新たな読みを提示する。「源泉」としてのブ  
ルンテ文学の大きさを明らかにする、多彩な論考二〇篇。  
A5判上製・四三頁 定価(5500円+税)  
ISBN 978-4-86110-629-3



Shakespeare  
Performances in Japan  
Intercultural/Multilingual/Translingual  
浜名恵美 (東京女子大学教授・筑波大学名誉教授)  
日本における多彩なシェイクスピア上演を、異文化コミュニ  
ケーション・相互理解・超言語実践の研究と結び付け、  
その特色を解明する。  
A5判並製・一八八頁 定価(5500円+税)  
ISBN 978-4-86110-657-6



ジョイスの拡がり—インターテクスト・絵画・  
歴史 田村章 (金城学院大学教授)  
「他のテクストとの関係」視覚芸術との関連  
「歴史記述の問題」という二つの観点から解  
釈し、テクストの(細部)と(外部)を大胆  
に往還するユニークなジョイス論!  
ISBN 978-4-86110-625-5 ¥3500

未完のカミュ—絶えざる生成としての揺らぎ  
阿部いそみ (東北文科大学短期大学部教授)  
人間は、完結せず常に現在を生き続ける存在  
「生きる」ことに関わる本質的感覚に訴え、  
人々を魅了し続けるカミュの作品を、「未完  
性」という視点から分析する。  
ISBN 978-4-86110-623-1 ¥3700

翻訳とアダプテーションの倫理 シャンルとメ  
ディアを越えて 今野喜和人 (静岡大学教授) 編  
ジャンルやメディアの区分が消滅しつつある  
現代、オリジナル/ソースに忠実であるとい  
う規範はどこまで有効なのか。横断的・重層  
的に考察し、新たな倫理問題を提起する。  
ISBN 978-4-86110-621-7 ¥3500

D・H・ロレンスと雌牛サーサー—ロレンスの  
神秘主義をめぐって ウィリアム・ヨーク・  
ティンダル 著/木村公一 (早稲田大学名誉教  
授)・倉田雅美 (東洋大学名誉教授)・小林ひとり (元  
東海大学准教授) 訳 ロレンスが個人的宗教な  
ものの確立に至った過程を綿密に検証した  
思想的評伝。 ISBN 978-4-86110-627-9 ¥4000

揺れ動く(保守)—現代アメリカ文学と社会  
山口和彦 (上智大学准教授・中谷崇 (横浜国立大  
学准教授) 編  
トランプ現象に見られる混沌と分裂の時代に  
文学はどう対峙するのか。現代アメリカ文学  
に描かれた「保守」の諸相を多角的に考察。  
ISBN 978-4-86110-609-5 ¥3500

黙って踊れ エレクトラ—ホフマンスタールの  
言語危機と日本 関根裕子 (早稲田大学等非常  
勤講師) 「西洋」から「東洋」へ、「言葉」か  
ら「身体」へ—ホフマンスタールが希求した  
「オリエント」「日本」の姿、二〇世紀初頭の  
異文化交流の在り様を探る。  
ISBN 978-4-86110-637-8 ¥4200

非在の場を拓く—文学が紡ぐ科学の歴史  
中村靖子 (名古屋大学教授) 編  
近代科学がもたらした技術は、いかに人間の  
想像力や表現手段を変容させてきたのか?  
文学、思想、哲学などの諸分野を横断し、「非  
在の場」をめぐり思考する10の刺激的論考。  
ISBN 978-4-86110-635-4 ¥3500

アメリカは日本文化をどう読んでいたか—村  
上春樹 吉本はなな 宮崎駿 押井守  
芳賀理彦 (敬愛大学准教授) 日本現代文学や  
アニメはアメリカでどのように受容され、日  
本のイメージはどのように形成されているの  
か。他文化理解の困難さを明らかにする。  
ISBN 978-4-86110-605-7 ¥3000

エミリー・ディキンソンを理詰めて読む—新たな  
詩人像をもとめて 江田孝臣 (早稲田大学教授)  
ISBN 978-4-86110-605-7 ¥3000  
アレゴリーで読むアメリカ/文学—ジェン  
ダーとゴシックの修辭学 武田悠一 (元南山大  
学教授) ISBN 978-4-86110-569-2 ¥3500

『フィネガンス・ウェイク』のフロロークを読む  
む—Nervun から phoenix へ 奥田良二 (東海  
大学教授) ISBN 978-4-86110-575-3 ¥3000  
一人の詩人と二人の画家—D・H・ロレンスと  
ニームキニコK・メルル 著/木村公一・倉田雅  
美 伊藤万子 訳 ISBN 978-4-86110-498-5 ¥4100

外見の修辭学—九世紀末アメリカ文学と人の  
「見た目」を巡る諸言説 福井崇史 (國學院大  
学教授) ISBN 978-4-86110-581-4 ¥4000  
グロテスク・美のイメージ—ドムス・アウレア、  
ピラネージからフロアールまで 武末祐子 (西  
南学院大学教授) ISBN 978-4-86110-588-3 ¥3200

文学という名の愉楽—文芸批評理論と文学研  
究へのアプローチ 寒河江光徳 (創価大学教授)  
ISBN 978-4-86110-595-1 ¥2200  
身体と感情を読む—イギリス小説—精神分析  
セクシュアリティ、優生学 武田美保子 (京都女  
子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-582-1 ¥2700



文学とアダブテーション——ヨーロッパの文化的変容 小川公代・村田真一・吉村和明編 ISBN 978-4-86110-559-3 二刷 ¥2200	敗戦・憂国・東京オリンピック——三島由紀夫と戦後日本 洪潤科(誠信女子大学校助教授) ISBN 978-4-86110-463-3 ¥3000	世紀末の長い黄昏——H・G・ウェルズ試論 宗洋(高知大学准教授) ISBN 978-4-86110-550-0 ¥2700	美しき汚れ——アーサー・マンビーとウィクトリア朝期女性労働者の表象 吉本和弘(県立広島大学教授) ISBN 978-4-86110-442-8 ¥3000	松本清張の葉脈 南富嶺(静岡大学教授) ISBN 978-4-86110-557-9 ¥2700	中世英語英文学——その言語・文化の特質 菊池清明(元立教大学教授) ISBN 978-4-86110-428-2 ¥4500	文学都市ダブリン——ゆかりの文学者たち 木村正俊(神奈川県立外国語短期大学名誉教授)編 ISBN 978-4-86110-518-0 ¥2700	秘密のラティガン——戦後英国演劇のなかのトランス・メディア空間 大谷伴子(東京学芸大学講師) ISBN 978-4-86110-448-0 二刷 ¥2700	カホーティ小説の詩的特質——音と文彩 大園弘(九州国際大学教授) ISBN 978-4-86110-521-0 ¥2200	マーガレット・オブ・ヨークの「世紀の結婚」——英国史劇とブルジョア公園 大谷伴子 ISBN 978-4-86110-419-0 二刷 ¥2700	バルザックの文学とジェンダー——女性作家との比較から分かること 東辰之介(駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-533-3 ¥2600	交錯する戦争の記憶——占領空間の文学 黄益九(在日コリアン研究所) ISBN 978-4-86110-422-0 ¥3300	スコットランド、一八〇三年——ワースワス兄妹とコルリッジの旅 安藤潔(関東学院大学教授) ISBN 978-4-86110-529-6 ¥2700	名譽革命とイギリス文学——新しい言説空間の誕生 富樫剛(フェリス学院大学教授)編 ISBN 978-4-86110-412-1 ¥3000	帝国と文化——シェイクスピアからアントニオ・ネグリまで 江藤秀一(筑波大学名誉教授)編 ISBN 978-4-86110-517-3 ¥3500	ジョージ・エリオットの異文化世界 高野秀夫(駒澤大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-395-7 ¥3333	トルストイと生きろ 藤沼貴(早稲田大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762	戸籍の謎と丸谷才一 ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-381-0 ¥1800	乱歩彷徨——なぜ読み継がれるのか 紀田順一郎(評論家・作家) ISBN 978-4-86110-284-4 二刷 ¥1905	作品は「作者」を語る——アラビアン・ナイトから丸谷才一まで ソーントン不破直子・内山加奈枝編著 ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857	朝鮮神話の源流——「ハリ公主神話」と「ダンクン神話」を巡って 金香淑(元白田大学准教授) ISBN 978-4-86110-313-1 ¥4500	永井荷風 ソライズムの射程——初期作品をめぐって 林信蔵(福岡大学准教授) ISBN 978-4-86110-222-6 ¥3619	アントニオ・タフッキ 反復の詩学 花本知子(京都外国語大学准教授) ISBN 978-4-86110-358-2 ¥3000
---	--	--	--	---	---	---	--	--	---	--	---	--	--	---	---	--	---	---	--	--	---	---

Beowulf 橋本修一(千葉工業大学教授) ISBN 4-86110-060-7 ¥2000	カスオ・イシグロ——《日本》と《イギリス》の間から 莊中孝之(京都外国語短期大学教授) ISBN 978-4-86110-255-4 二刷 ¥3000	なせ男は笹野頼子を畏れるのか 海老原暁子(元立教女子学院短期大学教授) ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381	ラファディオ・ハーンとジェイムズ・トムソン——『四季』をめぐる 先川暢郎(拓殖大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333	新版文学にひそむ十字架 小出龍太郎(元大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800	小出龍重——光の憂鬱 小出龍太郎(元大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 4-921146-34-9 ¥2200	英詩に魅せられ——エリオットからラーキンまで 堀田三郎・犬飼誠 共編 ISBN 978-4-86110-305-6 ¥2476	龍の星霜——異端の劇作家青江舜一郎 大嶋拓(映画作家) ISBN 978-4-86110-274-5 ¥1500	幻想と怪奇の英文学 東雅夫(アンソロジースト、評論家)・下楠昌哉(同志社大学教授)編 ISBN 978-4-86110-404-6 二刷 ¥2700	幻想と怪奇の英文学II——増殖進化編 東雅夫・下楠昌哉編 ISBN 978-4-86110-516-6 ¥2200	幻想と怪奇の英文学III——転覆の文学編 東雅夫・下楠昌哉編/ロースマリー・ジャクソン 著/下楠昌哉 訳 高山宏氏推薦! 幻想文学を「ジャンル」ではなく「モード」として捉えなおすことを提唱した幻想文学論の古典。本邦初訳。 ISBN 978-4-86110-622-4 ¥2700
--	--	---	--	--	---	--	---	---	--	---

# 翻訳ピンチ!

中条省平 SHOHEI CHUJO

24  
ピンチは続くよどこまでも

本欄で何度かマンディアルグの小説を翻訳しているという話をしてきましたが、実はまだ終わっていないのです。

この企画は、マンディアルグの最後の長篇小説『すべては消えゆく』を出し直すものとしてスタートしました。本作の翻訳を白水社からハードカバーで出版したのが1996年ですから、今からもう20数年も前のこと。その後、好評につき(照れ笑い)、同社の白水uブックスという新書判で新たに再版したのが2002年のことでした。

今回は、判型をさらに縮小して光文社古典新訳文庫から刊行することにしたのですが、『すべては消えゆく』だけでは新味がないので、私の新訳で短篇をいくつかオマケに付けるという案が編集部から出ました。そこで私は、マンディアルグの最晩年の短篇集2冊、『刃の下』と『薔薇の葬儀』を全部読みかえして、そこから一番面白い短篇を1作ずつ選んで新訳し、それだけでもけっこう大変だったのですが、これでようやく文庫になると胸を撫でおろしたのです。

ところが! 『すべては消えゆく』を読

んだ編集者のO都さんという青年が、主人公の男と女の会話が古い、というのです。そりゃあそうでしょう、マンディアルグはこの2人の会話を、現代のパリでの出来事でありながら、フランスの古典演劇(17世紀ですよ)を思わせる調子で、凝りに凝った文体を用いて書きあげたのですから。

でもO都さんは、この種のフランスの高踏的にして典雅、残酷にしてエロティックな小説の読者は基本的に若いお洒落な女性であって、そういう人たちに読んでもらうには、私の訳はちょっと古くさくて抵抗がある、もっと若い女性が飛びつくような文章にしくちゃダメです。私は、白水社の編集者も現・東大名譽教授の野崎敏氏も絶賛してくれたのに、と抗弁したのですが、まったく聞き入れてくれません(涙)。(このピンチ、次回に続く)

(仏文学者)

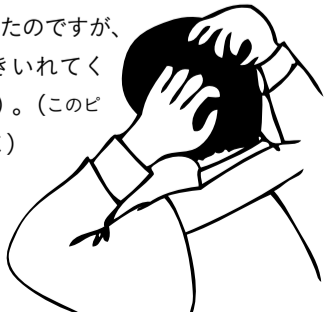


イラスト: たけなみゆうこ

# 文学



**荒地** T・S・エリオット著  
滝沢博(元高岡法科大学教授) 訳・解説  
モダニズム詩の金字塔『荒地』の最新訳。『孤独』という時代の病理を描く同作を清新な日本語訳でよみ直す。作品中に現れるモチーフや制作過程の問題等に着眼した解説も充実。  
四六判並製・三三二頁 定価(2,900円+税)  
ISBN 978-4-86110-649-1

**孤独な殿様** ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授)  
天正大地震から四百年、奥飛騨の小村と東京渋谷の歓楽街を往来する、謎の殿様をめぐる物語。時空を超え、多彩なストーリーテラーによりかたいつむがれてゆく。  
ISBN 978-4-86110-617-0 ¥1500

**古英語叙事詩『ヘオウルフ』——クレーバー第4版対訳 吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) 訳**  
ISBN 978-4-86110-572-2 ¥4000

**鐘の音が響くカフェで** ボール・ヴァッカー著/田村奈保子(福岡大学) 訳  
ISBN 978-4-86110-606-4 ¥2500

**鎌倉三猫物語** ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-430-5 ¥1500

**鎌倉三猫いまふたたび** ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-515-9 ¥1500

**クリスマス・キャロル チャールズ・ディッケンズ著/井原慶一郎(鹿児島大学教授) 訳**  
ISBN 978-4-86110-474-9 ¥1500

**八月の瓜——母へ 彭学明著/立松昇一(拓殖大学教授)・舟山優士(翻訳家) 訳**  
ISBN 978-4-86110-520-3 ¥2500

**八月の瓜——母へ 彭学明著/立松昇一(拓殖大学教授)・舟山優士(翻訳家) 訳**  
ISBN 978-4-86110-546-3 ¥1750

**中世英語英文学III 中世イギリスロマンスガウェイン卿と緑の騎士 菊池清明(元立教大学教授) 訳**  
ISBN 978-4-86110-579-1 ¥3400

**画文集 旅の貼り絵 安田彰(元亜細亜大学教授)  
ISBN 978-4-86110-546-3 ¥1750**

**トロイア戦争の三人の英雄たち——アキレウスとアイアスとオテッセウス 川井万里子(東京経済大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-613-2 ¥2500**

**ハルザック王国の裏庭から——『リュジェリーの秘密』と他の作品集 宇多直久(元滋賀大学講師) 編訳 ISBN 978-4-86110-544-9 ¥2500**



写真・音楽・芸術



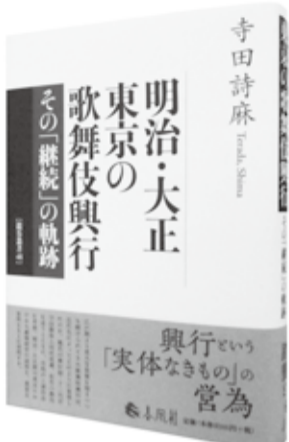
本の縁側

矢萩多聞 (装丁家・画家)  
本のまわりにはいつもにぎわいがあり、ちょこんと腰をおろせる場所がある。二〇二二年〜二〇一九年にデザインした装丁約五〇〇点の書影をカラーで収載。A6判並製・四二六頁 定価(2800円+税) ISBN 978-4-86110-653-8

明治・大正 東京の歌舞伎興行

その「継統」の軌跡

寺田詩麻 (龍谷大学専任講師)  
江戸期より莫大な負債を抱えつつも続けられてきた歌舞伎興行は、近代化によってどのように変容したのか。明治・大正期の東京における大劇場経営の諸相を、豊富な資料をもとに究明する。  
A5判並製・五四四頁 定価(8000円+税) ISBN 978-4-86110-631-6



平成/令和の 佐竹本三十六歌仙

有馬頼底 (龍谷宗相国寺派管長)  
堀江恭子 (衆人)  
相国寺管長と茶道遠州流幽水会会長が揮毫した書と、京友禅の研究者が忠実に復元した歌仙絵からなる現代版佐竹本三十六歌仙絵。  
B5判並製・二〇〇頁 定価(2000円+税) ISBN 978-4-86110-662-0



しりあがり寿 mini 帰ってきた大河 22 手紙



永禄三年五月十九日、今川義元は大軍を率いて香掛城を出た。目指すは尾張の平定、織田の清洲城も間近だった。と、お側の武将駿河葵ノ介が声をかけてくる。「なんかイヤな予感がするんですけどねー」周囲の武将は口々に葵ノ介を諷める。「またそんなことを」「お主はいつでもそういうネガティブなことを申す」「ところが今までお主が悪い予感がした時は大抵いいことがあったではないか」「富士川で北条を退けた時もお主は悪い予感がすると言っていた」「甲相駿三国同盟もお主はそんなもの成るわけがないと言っていた」葵ノ介はひるまなかつた。「イヤだからそっからへんで運の良さ使いきっちゃって、今回もう悪い運しか残ってないよっな」黙って聞いていた義元が尋ねた。「何か凶事を避けるまじないでもあるか?」「えー、ハナクソを三度舐めればどんな凶事も平気だと先代が申しとおりました」桶狭間の手前、ハナクソを舐め舐め進軍する今川軍をバケツをひっくり返したような大雨が迎えた。ハナクソを舐めたくらいでは歴史は覆らぬよっであった。

ホベルト・ブルー・マルクスの庭にて  
ジャック・レナール 監修/荒井芳廣 (大妻女子大学名誉教授) 訳「庭園とは、要するに、通常は用いられない素材を用いて絵画作品を組織し構成するひとつの方法でした」。巨匠ブルー・マルクスの論考とインタビューの集成。  
ISBN 978-4-86110-594-4 ¥3200

躍動 横浜の若き表現者たち  
細見葉介  
横浜を拠点に、新しい「なにか」を創作する若者たち。今まさに芽吹きの際にある、映画監督、演奏家、画家など、若手表現者十四名の思いが綴られたインタビュー集。  
ISBN 978-4-86110-640-8 ¥1800

浅草 2011.2016 一六区ブロードウェイ 日本人の肖像 初沢克利 (写真家)  
ISBN 978-4-86110-547-0 ¥7000

織みち  
吉住小三代 (長順吉住会)  
ISBN 978-4-86110-562-3 ¥1852

茶艶 我が師有馬頼底現下小堀宗慶御家元  
堀江恭子 (衆人)  
ISBN 978-4-86110-567-8 ¥3500

石巻片影  
三浦衛 (春風社代表) 著・橋本照嵩 (写真家) 写真  
ISBN 978-4-86110-530-2 ¥2500

石巻 2011.3.27 ~ 2014.5.29  
橋本照嵩 (写真家)  
ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500

【新版】北上川  
橋本照嵩 (写真家)  
ISBN 978-4-86110-441-1 ¥3500

スウェーデン民話名作集 数下統一訳  
III ISBN 978-4-86110-339-1 各巻 ¥1905  
IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻 ¥1905

いないも同然だった男 パトリック・ルコント 著/桑原隆行 (福岡大学教員) 訳  
ISBN 978-4-86110-458-9 一刷 ¥1800

愉しみは最後に パトリック・ルコント、ダヴィッド・デカンヴィル 著/桑原隆行 (福岡大学教員) 訳  
ISBN 978-4-86110-418-3 ¥1800

エルビー・メルゲンと七つの太陽ーモンゴルのいつたえ集 塩谷茂樹編訳/Ya・バタム・ノド・ラム執筆  
ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600

クリス・ホルティック選 コジック短編小説集  
石塚則子 (同志社大学教授) 他 編訳  
ISBN 978-4-86110-298-1 ¥3500

お爺ちゃんとお婆  
オタ・フィリップ 著/北岡武司 (岡山大学名誉教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-446-6 ¥2500

人生の請求書  
石橋幸子 (春風社専務)  
ISBN 978-4-86110-410-7 ¥1300

カフェの女主人  
レイモン・シヤン 著/桑原隆行 (福岡大学教員) 訳  
ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200

モーツァルトの息子  
ジャック・トゥルニエ 著/高井道夫 (元上智大学教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-242-4 ¥2200

空にあがったハイエナー ケニア・キクウの民話集 杜由木  
ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600

カレワラ物語ーフィンランドの国民叙事詩  
キルステイ・マキネン 著/荒牧和子 訳  
ISBN 4-86110-034-8 ¥1800

愛の叙事詩 ハルダイヤン物語 ミシエル・ゼヴァコ 著/鈴木慎男 (神戸松蔭女子学院大学名誉教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-223-3 ¥2800

横浜の時を旅するーホテルニューグランドの魔法 山崎洋子 (作家)  
ISBN 978-4-86110-296-7 三刷 ¥1600

みらいのゆくすえ  
しりあがり寿 (漫画家)  
ISBN 978-4-86110-294-3 ¥1600

マーヴアキナまたは巫山の夢  
三浦衛 (春風社代表)  
ISBN 978-4-86110-342-1 ¥1957

父のふるさとー秋田往来  
三浦衛 (春風社代表)  
ISBN 978-4-86110-243-1 ¥1905

出版は風まかせーおとほけ社長奮闘記  
三浦衛 (春風社代表)  
ISBN 978-4-86110-193-9 ¥1300

かほちやの下でーウガンダ戦争を生きる子どもたち 桜木奈央子 (写真家) 写真・文/伊藤氏貴解説  
ISBN 978-4-86110-259-2 ¥1800

世界写真紀行ー美しい自然と文化を訪ねて (海外編・国内編) 渋谷興一  
ISBN 978-4-86110-409-1 ¥3500

ドアの映画史ー細部からの見方、技法のリテラシー 吉田暁 (京都産業大学教員)  
ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800

アンリカの選択  
丸岡永乃 (画家・詩人)  
ISBN 978-4-86110-337-7 ¥1800

ハブに染みるせー天才ジャズ本  
安原顕 (スパーエディター)  
ISBN 4-921146-62-4 ¥2800

邦訳「カリヴァー旅行記」書誌目録  
松菱多津男 (公社社会派)  
ISBN 978-4-86110-276-9 ¥4600

OTHER VOICES 東大全共闘・68ー70  
平沢豊 (編集者)  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

横浜市立大学新叢書



教育公務員特例法 制定過程の研究

高橋寛人 (横浜市立大学教授)
学問の自由はどのように保障されるのか? 教特法成立の全過程を、日米の史料に即し立案の経緯から検討。教育の論理に基づく教員の身分保障制度を構築する重要性を問い直す。
四六判並製・四頁 定価(3000円+税)
ISBN 978-4-86110-650-7

立教大学人文叢書

- 1 人文科学の現在― 浦野聡他 編著 ISBN 4-86110-063-1 ¥2200
2 文学の基礎レクシオン 後藤和彦 編著 ISBN 4-86110-087-9 ¥2200
3 肖像と個性 藤巻明他 編著 ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200
4 人文科学の現在II 菅谷憲典 編著 ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2200
5 書簡を読む 桑瀬章二郎 編著 ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

東洋英和女学院大学 社会科学研究叢書

- パワハラ・トラウマに対する短期心理療法― リーフセラピー・臨床動作法・NLPの理論と実例 岡本浩一・長谷川明弘 編著 ISBN 978-4-86110-590-6 ¥2500
心理的被害軽減のための救急的な措置を、臨床心理学の知見に基づき模倣可能な形で提示。職場での支援活動に短期間で効力を発揮する。 ISBN 978-4-86110-639-2 ¥2500
世界のメリアーグロバル時代における多様性 小寺敦之(東洋英和女学院大学准教授) 編著 ISBN 978-4-86110-591-3 ¥2500
アジアの国際関係―移行期の地域秩序 福田保(東洋英和女学院大学准教授) 編著 ISBN 978-4-86110-590-6 ¥2500
新時代のやさしいトラウマ治療 岡本浩一・角藤比呂志 編著 ISBN 978-4-86110-545-6 ¥2500
EU統合を読む―現代ヨーロッパを理解するための基礎 小久保康之 編著 ISBN 978-4-86110-483-1 ¥2500
ネット空間を変えるモバイル社会 東洋英和女学院大学メディア・コミュニケーション研究所 編著 ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500
グローバル化とリスク社会 岡本浩一・パトリシア・スイツヘル 編著 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

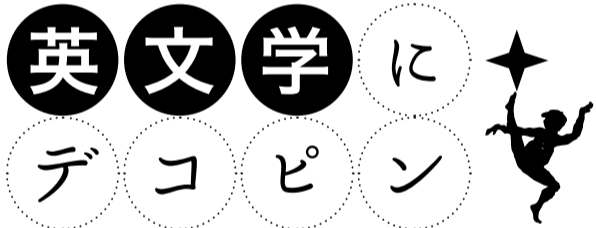
総記・辞典・事典



世界中のミュージカル・日本のミュージカル 岩崎徹(横浜市立大学准教授)・渡辺諒(早稲田大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-570-8 ¥2500
資料を見て考えるホロコーストの歴史 ヴァンゼー会議記念館 編著/山根徹也・清水雅大 訳 ISBN 978-4-86110-461-9 ¥2000
韓国の財政と地方財政 鞠重鎬(横浜市立大学教授) ISBN 978-4-86110-460-2 ¥3000
レリギオ―(宗教)の起源と変容 三上真司(横浜市立大学教授) ISBN 978-4-86110-452-7 ¥3000
日中間戦争と中国の文学者―郁達夫 柯靈 陸蠡らをもめくつて 鈴木正夫(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-411-4 ¥3500
天狼俳句の英訳―誓子・敏雄・綾子 古平隆(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-384-1 ¥3000
過去の再演を越えて―精神分析的ロール・プレイング 川幡政道(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-374-2 ¥3000
読んで愉しむイギリス文学史入門 白井義昭(横浜市立大学名誉教授、立正大学教授) ISBN 978-4-86110-372-8 四刷 ¥1500

- 発信型 日本人が使いこなせないフランス基本単語小辞典 久松健一・Michel Gonçalves 編著 ISBN 978-4-86110-563-0 ¥2500
フランス語名詞・動詞連語辞典 石川三千夫(桜美林大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-536-4 ¥3500
デジタル雑学事典 田所清克(京都外国語大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-496-1 ¥5000
ニューシニア下百科事典 エーシーランド学芸会 編著 ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333
ダンテ神曲原典読解語源辞典(地獄)〈煉獄〉〈天国〉 福島治 編著 ISBN 4-921146-77-2 / 4-921146-78-0 / 4-921146-79-9 各巻 ¥4000
現代日本語モンゴル語辞典 橋本勝(天塚大学名誉教授) / E・プレフジャン 編著 ISBN 4-921146-33-0 ¥15000
日本の英語辞書と編纂者 愛知大学文学部 書 XI 早川勇(愛知大学名誉教授) 編著 ISBN 4-86110-064-X ¥6600

阿部公彦



11 作家の愛

イーヴリン・ウォーは熱狂的なファンがいることで知られる作家だ。中にはメール・アドレスに作家名Waughを使ったりする変な人もいるらしい。そういう人はきつとTシャツやパンツにウォーの顔写真を刷って寝間着にしたりするのだろう。
それにしても、ウォーは「愛され作家」なのだろうか。おそらくウォーのファンは、彼にぬくもりや愛を求めて読むわけではない。たとえば『一握の塵』のような作品を読むと、その登場人物への冷淡さや意地悪さに思わずたじろぐほど。主人公のトニー・ラストはたしかに愚鈍で、面白みのない人間に見えるが、子どもを突然の落馬事故で亡くし、妻には浮気され、やけそになって行ったアマゾンのジャングルで遭難して生死の境をさまざめたあげく、変質者みたいなディケンズ・ファンに幽閉され、帰国の望みを断たれてしまう。彼はここまでいじめられるべき人なのだろうか。もう少し情状酌量というか、慈しみの情を受けてもいいのではないか。
風刺小説というのはつくづく残酷なものだ。笑いの対象となるのが尊敬に値し

ない頓珍漢や、嫌われて当然の、ゴキブリのような人物であることもあるが、とりたてて悪いこともしていないトニーのような人物が餌食になることもある。
実はそこにウォーの微妙な立ち位置もあるのだ。『一握の塵』は単なる風刺ではない。妻のブレンダに浮気されるトニーには、かつて妻に浮気されたウォー自身の忸怩たる思いが重ねられている。語り手の残酷さは、ウォーの自分に対する複雑な視線を投影しているのだ。なんと面倒くさい自意識! なかなかのマゾヒストだ。
しかし、そのせいもあるのか、トニーは散々ひどい目に遭うものの、小説が終わりに向かうに従ってその描き方は深みを増し、心などないかに思えたトニーの人物造形も、少しずつその「奥」を垣間見せる。だからといって彼が救われるわけではないのだが、いつの間にか彼の後ろに立って応援している自分を読者は発見するかもしれないのである。
(英文学者)

詩歌・俳句



鯰 hadahada

三浦衛 (春風社代表)
まだ／おっかね話／してけねべかな? 『カメレオン』に続く秋田方言満載の詩集。本文は金属活字による活版印刷。阿部公彦氏による跋文「さびしさの力」を収録。
菊判変形・一〇六頁 定価(2200円+税)
ISBN 978-4-86110-610-1

- カメレオン 三浦衛(春風社代表) ISBN 978-4-86110-473-2 ¥2200
詩集 時のなか 北岡武司(岡山大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-616-3 ¥1800
太陽と黄昏と夜 詩的風景 高野正夫(駒澤大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-589-0 ¥1800
11の季節 松永澄夫(東京大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-601-9 ¥1000
デテムシ 新美南吉詩歌集 石川勝治(長崎県立大学名誉教授・斎藤卓志(民俗学) 編著 ISBN 978-4-86110-406-0 ¥1800
谷川健一全歌集 谷川健一(民俗学者・歌人) 編著 ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800
邂逅 岩田澄江 ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952

観光・環境・自然

- 突撃! よこはま村の100人―自転車記者が行く 佐藤将人(神奈川新聞記者) ISBN 978-4-86110-316-2 ¥1500
瀬戸内、鳥獣の旅―風景の奥を読む 伊藤松雄(四国学院大学教授) ISBN 978-4-86110-360-5 ¥1800
おはあちゃん! 豚となつて木に登る 外川洋子 ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500
富士山への招待―NPOが富士山と地域を救う 渡辺豊博(元都留文科大学教授) ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500
失敗しないNPO―グラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ 渡辺豊博(元都留文科大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500
英和の森の植物たち―感じる、遊ぶ、食べる 中池敏之・川崎末美(東洋英和女学院大学教授) ISBN 978-4-86110-321-6 ¥2600
コバタンの繁殖―絶滅危惧種保存への挑戦 石川文也(日本鳥学会会長) ISBN 978-4-86110-195-3 ¥2800

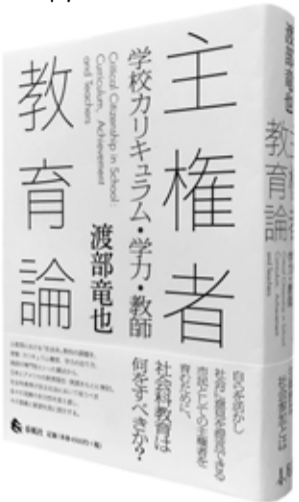




### 主権者教育論

学校カリキュラム・学力・教師  
渡部竜也 (東京学芸大学准教授)

自らを活かし社会に意見を提言できる市民としての主権者を育てるために、公教育は何をすべきか? 社会科学教育の課題を具に検討し、民主社会において培うべき各々の見解の多元性を意義と展望を示す。  
A5判上製・五四〇頁 定価(4500円+税)  
ISBN 978-4-86110-648-4



### 「エビデンスに基づく教育」の「眼」を探る

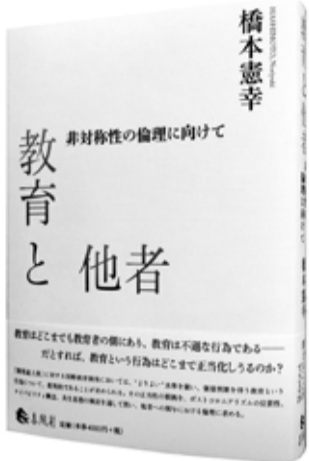
杉田浩崇 (広島大学准教授)  
熊井将太 (山口大学講師) 編

エビデンスを教育に取り入れることの内実を、政策/実践/研究の面から推進・批判派の両主張とともに検討。不確実さの含まれる教育という営みにおける判断のあり方を問い、多様な理解と評価に向けた新たな道標を示す。  
四六判上製・三四四頁 定価(3700円+税)  
ISBN 978-4-86110-658-3

### 教育と他者

非対称性の倫理に向けて  
橋本憲幸 (山梨県立大学准教授)

教育はどこまでも教育者の側にあり、教育は不遜な行為である——だとすれば、教育という行為はどこまで正当化しうるのか? 「開発途上国」に対する国際教育開発の正当性の根拠を問い、他者への関与における倫理を求める。  
A5判上製・三六六頁 定価(4000円+税)  
ISBN 978-4-86110-614-9



移動する女性たち—海外の日本語教育と国際ボランティアの周辺 平畑奈美(東洋大学准教授) 海を渡る「日本語教師」をめぐる幻想と実像 八割が女性という日本語教師を取り巻く環境と課題を、アンケート調査および四人の女性のライフストーリーをもとに明らかにする。  
ISBN 978-4-86110-638-5 ¥3241

共同体による自己形成—教育と政治のフロンティアズ  
生澤繁樹(名古屋大学准教授)

「共同体」に定位した社会・政治哲学の語り口が教育の領域においてどのように論じられてきたかを論究する。  
ISBN 978-4-86110-641-5 ¥5500

The Developmental Process of Japanese Elementary School Teachers Associated with Teaching English While Engaged in Lesson Study 上原明子(都留文科大学准教授) 小学校英語教育での教師と教職課程学生の指導の現状を分析し、各々の経験を活かす取り組み方を提案。本文英語。  
ISBN 978-4-86110-634-7 ¥5900

アメリカ人の生活と学校カリキュラム—生活に根差した学校に向けての次のステップ  
ハロルド・O・ラック著 渡部竜也・斉藤仁一朗・堀田論・桑原敏典訳 学び手の創造性が活きる相互的な学び方とは? デューイと同時期の社会科学教育の先駆者の代表作。初訳。  
ISBN 978-4-86110-602-6 ¥6000

大学英語教育の質的転換—「学ぶ場から」使う場へ 佐藤響子・Carl McGary・加藤千博編 アクティブで双方向的な英語力育成のための理念と教授・学習方法を、オールイングリッシュやCLIL、TOEFLといった多彩な英語教育の取り組みを通して提言する。  
ISBN 978-4-86110-618-7 ¥2300

歴史的思考—その不自然な行為 サム・ワイバーグ著 渡部竜也(東京学芸大学准教授)監訳  
ISBN 978-4-86110-555-5 二刷 ¥5100

世界の市民性教育の国家規模カリキュラム  
渡部竜也 編訳  
ISBN 978-4-86110-490-9 ¥4722

モン・クッドのための歴史教育—社会文化的アプローチ レヴステイク・パートナー 著 渡部竜也他訳  
ISBN 978-4-86110-445-9 一刷 ¥6000

教師のゲートキープング  
ステイブン・J・ソーントン 著 渡部竜也他訳  
ISBN 978-4-86110-328-5 二刷 ¥2857

言葉への道—障害の重い人たちの事例研究集  
遠藤司(駒澤大学教授)  
ISBN 978-4-86110-573-9 ¥2800

居場所—生の回復と充溢のトポス  
萩原建次郎(駒澤大学教授)  
ISBN 978-4-86110-566-1 ¥2315

教育方法改革の理論  
助川晃洋(国士舘大学教授)  
ISBN 978-4-86110-578-4 ¥2000

子どもの「内面」とは何か—言語ゲームから見た他者理解とコミュニケーション  
杉田浩崇(広島大学准教授) ISBN 978-4-86110-556-2 ¥3700

絵本から「子ども福祉」を考える  
青木文美(愛知淑徳大学准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-514-2 ¥3400

現代の学校を読み解く—学校の現在地と教育の未来 末松裕基(東京学芸大学准教授) 編著  
ISBN 978-4-86110-504-3 二刷 ¥2300

留学生の見た漢字の世界—漢字学習への創造的アプローチ 林さと子・関麻由美・齋藤伸子 編著  
ISBN 978-4-86110-568-5 ¥1852

人生の調律師たち—動的ドラマトゥルギーの展開 藤川信夫(大阪大学教授) 編著  
ISBN 978-4-86110-540-1 ¥4500

教育実践の昭和  
横須賀薫(元十文字学園女子大学学長)  
ISBN 978-4-86110-512-8 ¥2000

日本統治下台湾の教育認識—書房・公学校を中心に 呉宏明(京都精華大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-505-0 ¥3500

キリスト教人格教育論—個人の尊厳を見つめて 吉岡良昌(元東洋英和女学院大学教授)  
ISBN 978-4-86110-417-6 ¥2300

いのちを育む教育学 吉岡良昌(元東洋英和女学院大学教授)・大川洋(国際基督教大学上級准教授)  
ISBN 978-4-86110-143-4 ¥2200

アメリカ教育福祉社会史序説—ロジティンク・テイチャーとその時代 倉石一郎(京都大学教授) ISBN 978-4-86110-416-9 二刷 ¥3000

物語が始まるとき—共創教育の現場から  
青木幸子(昭和女子大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-415-2 ¥1800

ワークシートで学ぶ 生徒指導・進路指導の理論と方法 林尚示・服部伴文・村木晃  
ISBN 978-4-86110-355-1 ¥2000

日中教育学対話—川野凱声・山崎高哉共編  
ISBN 978-4-86110-159-5 ¥3200 / ISBN 978-4-86110-220-2 ¥2800 / ISBN 978-4-86110-248-6 ¥2200

私はどのような教育実践をめざすのか—言語教育とマイン・テイティ 細川英雄・鄭京姫 編  
ISBN 978-4-86110-379-7 ¥2800

子どもの心にとく授業—三重県桑名市立藤が丘小学校における六年 伊藤新司編著  
ISBN 978-4-86110-326-1 ¥2381

海峡を越えて—京畿高等女学校の思い出  
太田孝子(岐阜大学教授)  
ISBN 978-4-86110-157-1 ¥2200

戦前戦後—教護実践史  
佐々木光郎・藤原正範  
ISBN 4-921146-18-7 ¥4800

昭和前期の少年教護実践史(上・下)  
佐々木光郎 上 ISBN 978-4-86110-330-8 下 ISBN 978-4-86110-331-5 各巻 ¥3500

新版 生涯学習と地域社会教育 末本誠(淡川短期大学学長)・松田武雄(中村学園大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-234-9 ¥2476

学びを開くNIE—新聞を使ってどう教えるか 影山清四郎(横浜国立大学名誉教授) 編著  
ISBN 4-86110-080-1 ¥2381

幼児キャンブ—雪の体験  
山梨幼児野外教育研究会 監修  
ISBN 4-921146-40-3 ¥1905

べている。それは、いわゆる第一の近代から第二の近代への転回という議論のなかで指摘されている。

世界のさまざまなところでみられる市民的な運動はたしかにこの「弱い者」に照準を定めている。注目されるのは、そうした運動にかかわる彼ら/彼女らが個人主義と自由主義の本義に立ち返って自らの立ち位置をたしかめようとしているようにみえることである。そこで共通に目が向けられているのが、一つにはホセ・オルテガ・イ・ガセットのいう自由主義である。オルテガは「異なった他者」を考慮に入れない時代は「野蛮な時代」であると述べ、こうした時代を向こうにして立ちあらわれる自由主義は、「多数派が少数派に認める権利」であり「弱い敵と共存する決意を宣言する」ものであると述べている(『大衆の反逆』)。いまこうした「弱い敵と共存する」自由主義の本義が、「厄介な者」、「目障りな者」の社会への前景化とアンソニー・エリオットらのいう再帰的個人主義の取り込みとともに甦ってきている。

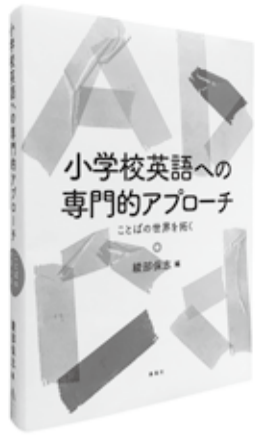
いずれにせよ、こうして長い間、社会の後景にあるのが「自然なもの」とされてきた「弱い者」を「社会的なもの」に変換することによって、人権や民主主義を復位させようとする動きが広がっている。マイケル・オリバーはそうした「弱さ」と向き合うことが「強い者」主導の新自由主義的な政治とは異なる「境界線の政治」の中心になっていると主張している。

(社会学者)



### 2 / 「弱さ」と向き合うこと

排外主義的なナショナリズムが吹き荒れる中で、メディアや論壇では人権や民主主義といった理念が急速に色褪せたものになっているといわれている。それとともに「自由」や「平等」が死語になっているという指摘もみられる。先年惜しまれながら亡くなったウルリッヒ・ベックは、長い間、そうした「自由」や「平等」が人びとの価値軸の中心をなしてきたが、それは男、ホワイト、大人、健康者、つまり「強い者」を自明視していたと述べている。しかしいまや、そうした「強い者」に代わって、女、ノンホワイト、子ども、障害者、つまり「弱い者」が社会の前景に立ちあらわれていると述



### 小学校英語への専門的アプローチ

ことばの世界を拓く  
綾部保志 (立教池袋中学校・高等学校教諭) 編  
社会言語学、音声学、記号論、児童文学、英語劇など、英語教育に関わる幅広い隣接科学の視点を取り入れ、専門的な知見を簡明に提示。  
A5判並製・三〇〇頁 定価(2000円+税)  
ISBN 978-4-86110-647-7

ISBN 978-4-86110-647-7

ウェールズ語の歴史  
ジャネット・デイヴィス著、小池剛史(大東文化大学准教授) 訳  
英語の圧倒的な影響のもとで力強くしなやかに生き抜いてきたウェールズ語の歴史。現代の使用状況や発音・文法の簡単な紹介も。  
ISBN 978-4-86110-608-8 ¥2700

視覚スキーマを用いた意味拡張動機づけの分析  
栗田奈美(拓殖大学特任講師)  
ISBN 978-4-86110-564-7 ¥5500

日本語のボライトネス再考―発話行為・発語媒介行為・相互行為  
笹川洋子(神戸親和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-502-9 ¥3500

ベトナム語母語話者のための日本語教育  
松田真希子(滋沢大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-491-6 ¥6600

英語と開発—グローバル化時代の言語政策と教育  
F・サージエント、E・J・アーリング編、松原好次 監訳 ISBN 978-4-86110-471-8 ¥3500

英語の名詞をさわる—可算名詞と不可算名詞の使い分け  
小林悦雄(立教大学教授)  
ISBN 978-4-86110-470-1 ¥1800

英語等—現代英語をより深く知るために  
菊池清明(元立教大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-513-5 ¥1400

英文法は役に立ち!—英語をもっと深く知りた人のために  
古田直肇(東洋大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-434-3 ¥2000

第二言語学習と個性性 津田塾大学言語文化研究所言語学習の個性性研究グループ 編  
ISBN 978-4-86110-065-9 ¥1600

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis  
鈴木憲夫(元神戸親和女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-114-4 ¥7619

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis  
鈴木憲夫(元神戸親和女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-114-4 ¥7619

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II  
鈴木憲夫(元神戸親和女子大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-300-1 ¥6667

ジョンソンと「国語」辞典の誕生—十八世紀巨人の名言・金言  
早川勇(愛知大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-399-5 ¥2500

啓蒙思想下のジョンソン辞書—知の集成を目指して  
早川勇(愛知大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-380-3 ¥5000

英単語のいざや  
早川勇(愛知大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-217-2 1800

英語のルーツ  
唐澤一友(立教大学教授)  
ISBN 978-4-86110-283-7 ¥2000

英語教育の精神と実践—コミュニケーションから英米文学まで  
岡田善明(日本大学講師)  
ISBN 978-4-86110-361-2 ¥1800

フェイス相互作用理論—日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークをとらえる  
横溝環 ISBN 978-4-86110-286-8 ¥4667

Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition  
伊庭緑(甲南大学教授)  
ISBN 978-4-86110-235-6 ¥4600

はじめての論文—語用論的な視点で調査・研究する  
田中典子(清泉女子大学教授)  
ISBN 4-86110-349-0 二刷 ¥1800

プラグマティクス・ワークショップ—身のまわりの言葉を語用論的に見る  
田中典子(清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-073-9 四刷 ¥1800

「俗語」から「国家語」へ—スウェーデン黄金世紀の言語思想  
岡本信照(京都外国語大学教授)  
ISBN 978-4-86110-291-2 ¥3333

### 心理

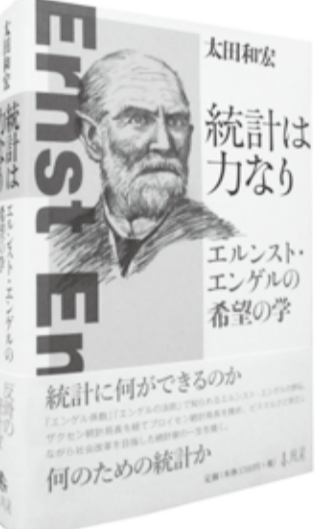


自由と尊厳を超えて  
B・F・スキナー著/山形浩生訳  
行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえした名著、待望の新訳!  
ISBN 978-4-86110-341-4 二刷 ¥2381

デイケアの心理学  
浮田徹嗣(横浜市立大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-306-3 ¥3000

環境心理学—環境デザインへのパースペクティブ  
植究(実践女子大学教授)  
ISBN 4-86110-010-0 一版二刷 ¥2286

### 社会・歴史



統計は力なり  
エルスト・エンゲルの希望の学  
太田和宏(元北海学園大学教授)  
「エンゲル係数」「エンゲルの法則」で知られるドイツの統計学者エルスト・エンゲルの評伝。黎明期の統計学の力を信じ、ビスマルクにも逆らって社会改革を目指した反骨の統計学者の一生を描く。  
四六判並製・四三六頁 定価(3700円+税)  
ISBN 978-4-86110-656-9

## ポストモダンの処方箋

24 ニヒリズムとしての教育改革 白井聡

に感じる有権者は少ないからだ。対照的に、「世の中色々おかしいぞ! 教育のせいだ! 改革だ!」——これで票は集まる。改革の内容などここではどうでもよい。実際のところ、「改革」は無駄な書類の山によって教員や研究者の本来業務を妨げているだけだ。そして、教育を玩具にすることによって立身出世をはかる政治屋の代表にして頂点を占めるのは、もちろん内閣総理大臣安倍晋三である。モラルのない政治屋、それを見抜けぬ有権者、迎合する教育関係者——この三位一体が改革という名の破壊を押し進める。だが、教科書を薄くしてみたり分厚くしてみたり、教員の勤務評定を厳しくしてみたり、と近年怒涛の如く行なわれてきたあらゆる改革が成果をあげていない事実が何を物語るのか。それを直視しない態度の根底にあるのは、次世代をどう育てるかについて実は真剣な関心がない、というニヒリズムだ。われわれは必ず、自らのニヒリズムから復讐されることになるだろう。

2020年度に実行される予定の大学入試改革が、当然ながら、厳しい批判を受けている。改革の内容についてここでは詳述しないが、湧き上がって来る疑問は単純だ。改革の必要性がわからないのである。とりわけ、「大学入学共通テスト」(センター試験の後継)における記述式の導入は、おびただしい混乱を生むだろう。50万人を超える受験者の答案を公平に採点することは、実務的に並大抵の事業ではない。各方面から改革の不合理と不条理が指摘されながら、それでも改革が強行されるのは、教育問題に対する政治家の「熱量」が高いからだ。熱量の高さは文部官僚への圧力となって表れ、とにもかくにも「改革した」という外観が求められる。そして、政治家が教育改革をやたらと口にする動機は集票である。教育問題は票になる。なぜなら、ほぼすべての有権者は学校に通った経験を持つので、教育問題は身近に感じられるからだ。例えば、「日本の林業の問題点とそれへの対策」について深い見識を持つ政治家がそれを説明しても票にはならない。林業を身近

(政治学者)

### ムガル建築の魅力

ムガル建築の魅力  
皇帝たちが築いた地上の楽園  
宮原辰夫(文敬大学教授)  
タージ・マハルは永遠の楽園か? インド・イスラーム王朝の五〇〇年に及ぶ、謀略と欲望が渦巻く世界。諸王が築いた栄華の象徴としての墓廟をたどる。第一部ではムガル朝の帝都アーグラを、第二部ではデリー・スルターン朝の都デリーを紹介。写真多数掲載。  
A5判並製・三三〇頁 定価(3100円+税)  
ISBN 978-4-86110-633-0



反逆者たちのアメリカ文化史  
未来への思考  
堀真理子(青山学院大学教授)  
女性、黒人、ユダヤ人、メキシコ人……一九世紀以降のアメリカ文化史を差別・抑圧されてきた側の視点から通覧。多様な価値観を包摂してきたアメリカ文化の魅力を示す。  
四六判並製・二八〇頁 定価(2700円+税)  
ISBN 978-4-86110-659-0

掘真理子(青山学院大学教授)  
女性、黒人、ユダヤ人、メキシコ人……一九世紀以降のアメリカ文化史を差別・抑圧されてきた側の視点から通覧。多様な価値観を包摂してきたアメリカ文化の魅力を示す。  
四六判並製・二八〇頁 定価(2700円+税)  
ISBN 978-4-86110-659-0



寛容な社会—アメリカ合衆国における言論の自由と過激派の言論 リー・C・ボリンジャー 著／池端忠司(神奈川大学教授) 訳  
 言論の自由はどこまで保障され、どこで制限されるのか。合衆国憲法修正第一条が保障する言論の自由の価値や目的を考察する。  
 ISBN 978-4-86110-593-7 ¥3900

食から描くインド—近現代の社会変容とアイデンティティ 井坂理穂(東京大学准教授)・山根聡(大阪大学教授) 編 肉食か菜食か、飲酒か禁酒か。誰がつくるのか、誰と食べるのか? イギリス植民地時代から現代まで、インドの食をめぐる刺激的論議!  
 ISBN 978-4-86110-633-0 二刷 ¥3700

ニュージャーナルTODAY ニュージーランド学芸編 98トピック+2コラムを各見開き2頁でわかりやすく解説。駐日ニュージーランド大使が推薦する、現代ニュージーランド情報の決定版!  
 ISBN 978-4-86110-644-6 ¥2000

基礎的自治体と町内会自治会—「行政協力制度」の歴史・現状・行方 日高昭夫(山梨学院大学特任教授) 町内会自治会は、任意の住民自治組織なのか、地方自治システムなのか。行政協力制度の現状と課題を明らかにする。  
 ISBN 978-4-86110-611-8 ¥4200

難民支援—ドイツメディアが伝えたこと 松原好次(元電気通信大学教授、内藤裕子(翻訳者) 二〇一五年以降のドイツにおける難民支援の実情と変遷を、新聞・ブログなど現地メディアをもとに紹介・解説。一市民に何ができるのかを問う。  
 ISBN 978-4-86110-607-1 ¥2700

社会学批判と現代—早瀬利雄の人と学問 内藤辰美(山形大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-561-6 ¥3900

海と陸の織りなす世界史—港市と内陸社会 弘末雅士(元立教大学教授、東洋文庫研究員) 編 ISBN 978-4-86110-592-0 ¥3000

エネルギーと地方財政の社会学—旧産炭地と原子力関連自治体の分析 湯浅陽一(関東学院大学教授) ISBN 978-4-86110-586-9 ¥3700

スイスの謎—経済的空間的秩序 加藤幸治(国士館大学教授) ISBN 978-4-86110-585-2 ¥2700

カヌードスの乱—19世紀ブラジルにおける宗教共同体 住江淳司(名桜大学教授) ISBN 978-4-86110-571-5 ¥2200

東アジアの秩序を考える—歴史・経済・言語 岩下哲典(東洋大学教授) 他 ISBN 978-4-86110-574-6 ¥3700

英国聖公会宣教師協会の日本伝道と函館アイヌ学校 田辺陽子 編著／西口忠著／F・ピリントンズリー 監修 ISBN 978-4-86110-580-7 ¥2600

当事者が支援する—薬物依存からの回復 タルクの日記パート2 南保輔・中村英代・相良翔編 ISBN 978-4-86110-584-5 ¥2000

戦後小樽の軌跡—地方都市の衰退と再生 内藤辰美・佐久間美穂(川村学園女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-526-5 ¥3800

北の商都「小樽」の近代—ある都市の伝記 内藤辰美(山形大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-450-3 ¥3900

都市の遺産とまちづくり—アジア大都市の歴史保全 鈴木伸治(横浜市立大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-560-9 ¥3200

新版 学問の暴力—アイヌ墓地はなぜあはかれたか 植木哲也(吉小牧駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-531-9 ¥2400

〈フオーク〉からの転回—文化批判と領域史 小長谷英代(早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-535-7 ¥4300

ミットフォードと積尊—イギリス人外交官の見た理想郷日本 A・B・ミットフォード著／大西俊男訳 ISBN 978-4-86110-524-1 ¥3200

都市近隣組織の発展過程—コミュニティガバナンスの日米比較論 大内田鶴子(江戸川大学教授) ISBN 978-4-86110-527-2 ¥5000

東亜連盟運動と石原莞爾 内村琢也(研究者) ISBN 978-4-86110-522-7 ¥5000

素描・杉原千敏 小谷野裕子(エッセイスト) ISBN 978-4-86110-528-9 一刷 ¥1800

天馬山—北朝鮮からの引揚げ者の語り 浅井重紀子(桜美林大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-519-7 ¥2200

「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男—日本近代スポーツの父・岸清一物語 古城庸夫(江戸川大学准教授) ISBN 978-4-86110-484-8 ¥2000

歴史教科書とナショナリズム—日本とドイツ 原口健治(青山学院大学教授) ISBN 978-4-86110-506-7 ¥2700

宝は田から—しあわせの農村民俗誌 山形県米沢 佐野賢治(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-507-4 ¥3500

先生、NPOって儲かりますか?—若者たちが地元で賢く生きる方法 渡辺豊博(元都留文科大学教授) ISBN 978-4-86110-480-0 ¥1389

今、田村明を読む—田村明著作選集 鈴木伸治(横浜市立大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-508-1 一刷 ¥2000

ケニアへかけた虹の橋—30年の国際ボランティア活動 NPO法人「少年ケニヤの友」編 ISBN 978-4-86110-485-5 ¥1833

米国の沖縄占領と情報政策—軍事主義の矛盾とカモフラージュ 吉本秀子(山口県立大学教授) ISBN 978-4-86110-451-0 ¥6500

ホストセリングを知っていますか?—日本の子ども向けテレビCMの実態 山下玲子、藤井達也 ISBN 978-4-86110-435-0 ¥3000

変容するテレビニュースとキャスターの役割 深澤弘樹(駒澤大学准教授) ISBN 978-4-86110-432-9 ¥3400

婚姻連帯論と社会学—レウィヒストロース、デュルケムをめぐって 門口充徳(成蹊大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-423-7 ¥4900

ベリと黒船祭—日米文化外交史 佐伯千鶴(立命館大学教授) ISBN 978-4-86110-425-1 ¥2200

難の誕生—難節供に込められた対の豊穡 皆川美恵子(十文字学園女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-439-8 ¥3800

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナッハイ著／藤野成爾訳 ISBN 978-4-86110-413-8 ¥1800

地域と越境—「共生」の社会経済史 内田日出海・谷澤毅・松村岳志編 ISBN 978-4-86110-407-7 ¥3500

不思議フランス 魅惑の謎 藤野敦子(京都産業大学教授) ISBN 978-4-86110-401-5 二刷 ¥1800

保守のピンチ 中島岳志(東京工業大学教授) ISBN 978-4-86110-227-1 ¥1800

変容する冷戦後の世界—ヨーロッパのリベラル・テモクラシー 永松雄彦・萬田悦生編 ISBN 978-4-86110-224-0 ¥281

空間のエスノグラフィ—文化を横断する 川床靖子(大東文化大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-367-4 ¥2700

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム—リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦水野剛也 ISBN 4-86110-038-0 ¥4600

1920年代の日本と国際関係—混沌を越えて「新しい秩序」へ 杉田米行(大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500

ネットワーク社会と空間のポリティクス—都市・モダニティ・グローバルゼーション 大澤善信 ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

ブラジルの都市問題—貧困と格差を越えて 住田育法(京都外国語大学教授) 監修 ISBN 978-4-86110-173-1 ¥3619

フランス革命を旅したイギリス人—リグビー博士の書簡より E・リグビー著／川分圭子訳 ISBN 978-4-86110-171-7 ¥2381

貧困をどのように捉えるか—H・ガンスの貧困論 西村貴直(関東学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-343-8 ¥3333

イングランドの地名—起源と歴史を訪ねて K・キヤメロン著／古見昭徳(明治学院大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286

表象のヴェネツィア—詩と美と悪魔 鳥越輝昭(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800

旅する対話—ティアスホラ・戦争・再生 姜信子(作家)、ザーラ・イマーエワ(映像作家) ISBN 978-4-86110-350-6 ¥1800

グローバリゼーション、市民権、都市—ヘクソスの社会学 岩永真治(明治学院大学教授) ISBN 978-4-86110-140-3 一刷 ¥3333

ヒトから人へ—一人前への民俗学 佐野賢治(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-281-3 ¥2381

物権法概説 小泉健(一橋大学学長) ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

僕の解放前後—一九四〇—一九四九 柳宗鎬著／白燦訳／太田孝子 日本語校編 ISBN 978-4-86110-164-9 ¥2800

かの冬、そして秋—僕の朝鮮戦争 柳宗鎬著／白燦訳／太田孝子 日本語校編 ISBN 978-4-86110-256-1 ¥2800

保生大帝—台北大龍峒保安宮の世界 尾崎保子(元昭和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-105-2 ¥2800

牡牛と信号—〈物語〉としてのネハール 山本真弓／序・佐々木幹郎(詩人) ISBN 4-921146-60-8 ¥2200

異色の経済学者 フリードリッヒ・リスト 諸田實(神奈川大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-576-0 ¥2700

国際コミュニケーションの政治学 本多周爾(武蔵野学院大学教授) ISBN 978-4-86110-524-4 ¥3000

医療制度改革の比較政治 石垣千秋(山梨県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-534-0 ¥5400

日中比較産業史—取引慣行と制度に見る戦前期日中経済的特質 四方田雅史(静岡文化芸術大学准教授) ISBN 978-4-86110-486-2 ¥3700

アメリカの対日通貨政策の形成—1971—2003年の日米通貨交渉を事例として 増水真 ISBN 978-4-86110-359-9 ¥2700

中国興業銀行の崩壊と再建—第二次大戦後フランスの政治・経済・金融的対抗 篠水宣孝(天東文化大学教授) ISBN 978-4-86110-565-4 ¥8640

BOOK REVIEW

『本の縁側』 矢萩多聞



漫画や小説の短編集が好きで、よく購入する。一度に読み終えてしまうことは殆どなく、いつもなんだかもったいなくて中断してしまう。それから1週間くらいかけてゆっくり、話をひとつずつ反芻しながら読む。ときには数頁の話でも途中で本を閉じ、その先がどうなるのかじっくり考えてから次の日に答えあわせをする。登場人物の人生にすこしだけお邪魔して、垣間見たお話の行間を頭の中で膨らませるのが好きだ。

本書はそういう楽しみ方をさせてくれた本だった。「どのような読書体験だったか聞きたい」という依頼を受けて送られてきた荷物は、思いのほか小さくて分厚かった。包みをひらくと判型の小さい、ちょっとした塊が出てきた。見た目の重厚感に反して、持ってみるとすごく軽かった。紙の目は荒くて手触りが良い。わら半紙のような少し甘い懐かしい匂いがする。パラパラとめくると書影がたくさん載っていて、合間合間に本にまつわるエピソードが差し込まれているという構成。写真が延々と並んでいる版面が第一印象では単調に見えて、読み終わるまでに飽きてしまったらどうしようと心配した。けれど予想に反してページをめくる指が止まらず、このままあつという間に読んでしまうことが怖くなり、一度中断することにした。それから毎日持ち歩き、折に触れて鞆の隅から取り出し少しづつ眺めた。

収録されているたくさんの方の仕事を見ていくと、それぞれのかたちの選び取り方の違い、筆者や編集者とのやりとり、そしてこだわりが差異として、それから流れとして浮かび上がってくる。文字と図の関係を見てその表象の奥行きを、どういった内容の本なのかを想像するのが楽しい。発色を抑えた紙に印刷された書影たちにも行間を感じる。きっと著者によって選ばれたであろう、個人的な空間と時間によく合うコンパクトな造本のなかで、イメージと文字に浸る時間は心地良かった。

◆中本那由子(デザイナー) (7頁に本の紹介)

政治・経済

異色の経済学者 フリードリッヒ・リスト

Friedrich List

諸田實

異色の経済学者の真像を描き、晩年の謎に迫る。



### 宗教と開発の人類学

グローバル化するポスト世俗主義と開発言説  
石森大知 (神戸大学准教授)  
丹羽典生 (国立民族学博物館准教授) 編  
教育・医療・福祉の各分野から社会全体の変革まで、宗教団体や宗教者による開発への関与が顕在化する現代。アジアとオセアニア各地の開発の現場から、宗教との関係を問い直す。  
四六判上製・四四八頁 定価(4000円+税)  
ISBN 978-4-86110-651-4

霊媒のいる街―北タイ、チェンマイの宗教復興  
興 福浦一男 (桐蔭横浜大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-489-3 ¥4000

〈紛争〉の比較民族誌―グローバル化におけるオセアニアの暴力・民族対立・政治的混乱  
丹羽典生編著 ISBN 978-4-86110-482-4 ¥3700

つながりの民族誌―中国摩梭人の母系社会における「共生」への模索 金細初美 (西南学院大学教授) ISBN 978-4-86110-487-9 ¥5000

実践と感情―開発人類学の新展開  
関根久雄 (筑波大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-469-5 ¥3500

現代アジアの宗教―社会主義を経た地域を説く  
藤本透子 (国立民族学博物館准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-453-4 ¥4200

途上と目的地―スペイン・サントスピリト巡礼路 旅の民族誌 土井清美 (中央学院大学講師) ISBN 978-4-86110-466-4 ¥4000

聖なる鉄琴スロテンの民族誌―バリ島トウガナン・ブクリンガン村の生活、信仰、音楽 野澤暁子 ISBN 978-4-86110-440-4 ¥4700

シニー・パフォーマンスが立ち上がる―現代アフリカの若者たちがむすぶ社会関係 大門碧 ISBN 978-4-86110-449-7 ¥4500

誰が差別をつくるのか―エチオピアに生きるカファランジヨの関係誌 吉田早悠里 (南山大学准教授) ISBN 978-4-86110-402-2 ¥4900

ハワイ人とキリスト教―文化の混淆とアイデンティティの再創造 井上昭洋 (実理大学教授) ISBN 978-4-86110-426-8 ¥2700

ヘリジカの贈り物―北方狩猟民カスカと動物の自然誌 山口未花子 (北海道大学准教授) ISBN 978-4-86110-383-4 ¥3200

Social Development, Culture, and Participation  
阪本公美子 (宇都宮大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-174-8 ¥6476

Dominio provincial en el Imperio inca  
渡部森哉 (南山大学教授)  
ISBN 978-4-86110-431-2 ¥4630

Estructura en los Andes Antiguos  
渡部森哉 (南山大学教授)  
ISBN 978-4-86110-371-1 ¥5714

インカ帝国の成立―先スペイン期アンデスの社会動態と構造 渡部森哉 (南山大学教授) ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

増殖するシャーマン―モンゴル・ブリアートのシャーマニズムとエスニシティ 島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-299-8 ¥7500

### シリーズ 来たるべき人類学 (全五巻)



1/セックスの人類学  
奥野克己・椎野若菜・竹ノ下祐二編  
ISBN 978-4-86110-180-9 一冊 ¥1905

2/経済からの脱出  
織田竜也・深田淳太郎編  
ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381

3/宗教の人類学  
吉田匡興・石井美保・花淵馨也編  
ISBN 978-4-86110-247-9 ¥1905

4/アジアの人類学  
片岡樹・シンジルト・山田仁史編  
ISBN 978-4-86110-357-5 一冊 ¥2381

5/人と動物の人類学  
奥野克己・山口未花子・近藤祉秋編  
ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381

ダワー・タンザニア、反乱と治療をもちあす謎の概念 岩崎明子 (文化人類学者)  
ISBN 978-4-86110-389-6 ¥3333

ナショナリズムと宗教―現代インドのビンドゥー・ナショナリズム運動 中島岳志 (東京工業大学教授) ISBN 4-86110-048-8 ¥3619

癒しと呪いの人類学 (第二版)  
板垣明美 (横浜国立大学准教授)  
ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

ヴェトナム―変化する医療と儀式  
板垣明美 (横浜国立大学准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

### 刊行予定 (タイトルは仮)

▼随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功▼新版 大地の哲学 小野寺功▼仏教個論の研究 岩松浅夫▼よく生きるための死生観 岩崎大▼カントの人権思想 菅沢龍文▼デカルトによる修練の哲学 津崎良典▼古代ギリシアの死生観 木原志乃▼新井奥蔵選集 コールタニエル、三浦衛▼フイテ伝 湯浅正彦他訳▼朱子学の遷移 片岡龍▼現代のヒンドゥー・ナショナリスト・イデオロギーの分析 近藤光博▼環境を批評する 青田麻未▼イエス・マルコ・哲学 三上真司▼Contemporary Irish Plays 佐竹晶子▼ポール・ポウルズ 外山健二▼「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子▼左伝の女たち 尾崎保子▼荒野へII 中井農▼アグリマスに魅せられて 大月和彦▼深田晋一▼中央ヨーロッパ 歴史と文学 桂元嗣▼T.S. Eliot 山口敦子▼ジョー・オートン 矢島直子▼制服のガールたち 杉村使乃▼バーナー・ド・ショー 森川寿他▼「線」で読むディケンズ 松本靖彦▼個から群衆へ 佐久間みかよ▼スコットランド文学の深層 木村正俊編▼幻想と怪奇の英文学IV 下橋昌哉、東雅夫編▼英米人名小辞典 吉見明徳訳▼中世英語英文学研究の多様性とその展望 菊池清明、岡本広教編▼漱石論集 齊藤恵子▼長閑の世界へようこそII 細谷朋子▼伝承で読み解く文化―藤倉恵子▼サテニアゴ・デ・コンポステラ 巡礼記 今野喜和人訳▼ブルーロックの世界 遠藤光▼モダニズムの胃袋 大西祥恵▼文学とアダプテーション2 小川公代、吉村和明編▼正当性と合法性 池端忠司訳▼神西清の散文問題 小林実▼アダプテーションの魅力 渡辺諒▼17〜18世紀のポランド演劇史 谷山和夫訳▼盆栽 川崎仁美▼黙阿弥論 埋忠美沙▼暮らしの日本語 (スペイン語版) 長谷川哲子▼暗記嫌いのためのロジカル英語入門 佐藤美弥子▼おしゃべりなポライトネス 笹川洋子▼神奈川県方言・アクセント 坂本薫▼自律のための教育学 大川洋▼鎌刀と学校教育 井上アヤ子▼野の学校 佐々木光郎▼擬人化の心理学 北村文昭▼教育のリーダーシップとハンナ・アレント 末松裕基、生澤繁樹、橋本憲幸訳▼健康自然塾 川村協平▼「ノ多」の人間観・世界観に基づいたスピリチュアルケア 小西達也▼アメリカ教育福祉社会史序説II 倉石一郎▼教育の理念・歴史・思想 藤井基貴、中村美智太郎編著▼「ウェルフェア・リビング」の教育 佐藤慎司、尾辻絵美編▼大学の理念 豊崎光衛訳▼知性的な信仰あるいは不信仰のための教育 井藤元他訳▼依存からひろがる人生機会 茶谷智之▼「ジョー・テューイ」教育思想の再解釈 生澤繁樹▼真正の評価 渡部竜也他訳▼多様化する子ども達に向き合う教師 瀬尾悠希子▼芦田恵之助の教育思想 山田直之▼小学校英語に児童文学を―吉田真理子他▼教育人間学の再検討 宮崎秀光▼共生社会と教育 坂口真康▼現代中東政治学 末近浩太▼社会学的システム理論の軌跡 赤堀三郎▼エッセイ風都市社会学 吉瀬雄一▼江戸大伝馬町の馬込勘解由 高山慶子▼イラン人とは誰のことか 八尾師誠、坂梨祥、斎藤正道訳▼韓国の地方民家 佐々木史郎▼コーポレート・ステークホルダー 豊田聡▼On the Road to East Asian Community 奥田孝晴▼多国籍チームの日本人リーダー 石黒武人▼ストリップ73年史 西条昇▼東アジアにおける弾圧・抑圧 岩下哲典他▼先祖祭祀と墓制の近代 問芝志保▼渡海者のアイデンティティ 上田信▼都市科学事典 横浜国立大学都市科学部編▼フランス魅惑と不安 北垣徹▼中東イスラームの社会的基層 千葉悠志▼現代民俗学考 佐野賢治編▼東アジアにおける南島研究 南島史学会編▼親子とは何か 梅津綾子▼インド・剥き出しの世界 田中雅一編▼カンボジア 共生の空間 牧野冬生他▼パプアニューギニアの華人 市川哲▼アフリカ研究と文化人類学 関谷雄一▼アフリカの森の女性たち 服部志帆、戸田美佳子、大石高典訳▼開発と文化における民衆参加 阪本公美子▼21世紀のメキシコ革命 山越英嗣▼同定の政治、転覆する声 石田智恵▼ボルネオ 森と人の関係誌 佐久間香子▼現代世界の呪術 川田牧人、白川千尋、飯田卓編▼持続可能な開発における「文化」の居場所 関根久雄編▼身体時間的人类学 板垣明美

### 出版をお考えの方へ

良書の企画をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

### 春風接人

きっかけは四十七のときにやった鎖骨遠位端骨折。痛かった！ひきつづいてのうつ病。なまけなかつた！しばらく小康状態を保つも、還暦が近づき、歳相応に前立腺に問題が生じた。恥ずかしかった！それに連鎖して発症した水腎症。五歳の時に風邪をこじらせ高熱を発し入院した折、医師から、ジンゾーのことを注意され、ジンゾーは腎臓と知った。ふつうの病院にもかかっているが、この間、朝岡和俊先生の世話になっている。週一で訪問し「おかげさまで今週も平穏に過ぎました」。先生、やおら私の右手首をとって脈診。つぎに右脚、折り曲げた膝の裏側をガニッと。「いつ、痛いつすー」「疲れがでていますね」。治療を終えて院をでると、また一週間がんばろうと思ふ。(三)

春風新聞 第三五号 二〇一九年二〇月二日発行  
発行者：三浦衛 発行所：春風社  
印刷：シナノ書籍印刷 レイアウト：矢萩多聞

グローバル都市を生きる人々―イラン人ディアスポラの民族誌 椿原敦子 (龍谷大学講師)  
イラン革命を機にアメリカ・ロサンゼルスへ亡命・移住してきたイラン人たち。日々移動しながら分散して暮らす、イラン出身者の民族誌。  
ISBN 978-4-86110-599-9 ¥3700

まちづくりのエスノグラフィ―《つくば》を織り合わせる人類学的実践  
早川公 (大阪国際大学准教授)  
まちづくりは何をつくるのか？ 筑波山麓地域でのフィールドワークから、人類学的まちづくり実践を提示する。  
ISBN 978-4-86110-626-2 二冊 ¥3700

アフリカ漁民文化論―水域環境保全の視座  
今井一郎 (関西学院大学教授) 編  
経済活動が活発化するなかで、いかに持続可能な漁業を行うことができるか？ 漁民の多様な実態を、知恵や技術、経済活動、資源管理の側面から明らかにする。  
ISBN 978-4-86110-643-9 ¥3700

流れをよそおう―レバノンにおける相互行為の人類学  
池田昭光 (東京外国語大学研究員)  
様々な宗教・宗派集団が共存し、内戦の記憶の残るレバノン。日常の微細な場面に光を当て、人びとの様態を記述する。  
ISBN 978-4-86110-587-6 ¥3500

都市の寺廟―シンガポールにおける神聖空間の人類学  
福浦厚子 (滋賀大学教授)  
厳しい宗教政策の中で生き残りをはかる寺廟。盛大な年中行事、霊媒による交霊会……都市社会における神聖空間の役割を探る。  
ISBN 978-4-86110-599-9 ¥4000

文化遺産はたれのものか―トルコ・アナトリア諸文明の遺物をめぐる所有と保護  
田中英資 ISBN 978-4-86110-3548-7 ¥3700

建築人類学―読む・描く・造る  
牧野冬生 駒沢女子大学特任准教授  
ISBN 978-4-86110-539-5 ¥4000

世界遺産の自然と暮し  
今井一郎 (関西学院大学教授)  
ISBN 4-921146-98-5 ¥1905

貧困と連帯の人類学―ブラジルの路上市場における一方的贈与 奥田若菜 (神戸外国語大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-532-6 ¥3700

The Agricultural Mongols  
ホルシギン・レンサイン (滋賀県立大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-543-2 ¥6000

「共感」へのアプローチ―文化人類学の第一歩  
渥美一弥 (自治医科大学教授)  
ISBN 978-4-86110-497-8 ¥2000

現代アジアの宗教―社会主義を経た地域を説く  
藤本透子 (国立民族学博物館准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-453-4 ¥4200

途上と目的地―スペイン・サントスピリト巡礼路 旅の民族誌 土井清美 (中央学院大学講師) ISBN 978-4-86110-466-4 ¥4000

聖なる鉄琴スロテンの民族誌―バリ島トウガナン・ブクリンガン村の生活、信仰、音楽 野澤暁子 ISBN 978-4-86110-440-4 ¥4700

シニー・パフォーマンスが立ち上がる―現代アフリカの若者たちがむすぶ社会関係 大門碧 ISBN 978-4-86110-449-7 ¥4500

誰が差別をつくるのか―エチオピアに生きるカファランジヨの関係誌 吉田早悠里 (南山大学准教授) ISBN 978-4-86110-402-2 ¥4900

ハワイ人とキリスト教―文化の混淆とアイデンティティの再創造 井上昭洋 (実理大学教授) ISBN 978-4-86110-426-8 ¥2700

ヘリジカの贈り物―北方狩猟民カスカと動物の自然誌 山口未花子 (北海道大学准教授) ISBN 978-4-86110-383-4 ¥3200

Social Development, Culture, and Participation  
阪本公美子 (宇都宮大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-174-8 ¥6476

Dominio provincial en el Imperio inca  
渡部森哉 (南山大学教授)  
ISBN 978-4-86110-431-2 ¥4630

Estructura en los Andes Antiguos  
渡部森哉 (南山大学教授)  
ISBN 978-4-86110-371-1 ¥5714

インカ帝国の成立―先スペイン期アンデスの社会動態と構造 渡部森哉 (南山大学教授) ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

増殖するシャーマン―モンゴル・ブリアートのシャーマニズムとエスニシティ 島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-299-8 ¥7500